新京日日新聞
夕刊
十二月二十二日
定價 一部五錢 一ヶ月壹圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯局專用(3)三二二五 營業局專用(3)三二〇〇

產業五ヶ年計畫案 對滿事務局近く審議

本年內に諒解點に達せん

【東京國通】滿洲國產業五ヶ年計畫案についてはさきに星野總務廳長より大藏、陸軍兩當局に提示されたが更に廿日入京した松田企劃處長も二十一日關係當局を訪問、詳細に亙つて案の內容を說明するところあり、なほ今後連日陸軍大藏、對滿事務局等に對して諒解を求める筈でこれが主管廳たる對滿事務局では近く陸軍省より案の囘附を待つて事務官會議を開き愼重審議を遂げることゝなつた、しかして右五ヶ年計畫案は明年度より實施の豫定でありこれと關聯して約九億圓に達する資金調達を賦課されてゐる滿鐵の明年度豫算も大體關係官廳の審議を終つてゐるので對滿事務局でも可及的速かに審議を進める方針であるから早ければ年內に一應の諒解點に達するものとみられてゐる

安協の妙案なく國府憂色深し

宋子文西安から歸還對策協議

【上海廿二日發國通】西安から歸京した宋子文氏はドナルド、孔祥熙兩氏および宋美齡夫人等と對學良妥協案につき協議した後國民政府要人を集めて重要會議を行つたが、妥協案決定には依然妙案なきものゝ如く國民政府部內には悲觀的空氣が横溢してゐる、なほ中央通信は宋子文氏の南京歸還により和平解決の可能性が見えたと報じてゐるが、一方學良氏は二十一日何應欽氏に對し自己の主張は寸毫も讓歩の餘地なしと強硬なる決意を示した電報を寄せて來た事實もあり、中央通信の樂觀說に俄かに信を措き難いといはれてゐる

共產黨首領周恩來 學良氏と密議

【上海廿二日發國通】當地支那側官邊の消息によれば、共產黨首領周恩來は現に西安に入り張學良、楊虎城兩氏と連絡密議をこらしてゐるらしく楊氏の聯共の色彩はますます濃厚となつたと

蔣氏を案外早く釋放か

【上海廿一日發國通】蔣介石氏は西安城外楊虎城氏邸に監禁され重傷の身を張學良氏差し廻しの軍醫の手で治療をうけてゐるが、張氏としても蔣氏が最早再起不可能となつた今日妥協條件如何によつては案外速かに身柄を南京に返還するのではないかとみられる

蔣氏は身に三彈 支那側消息

【上海廿一日發國通】最も確實な筋への情報によれば蔣介石氏は十二日兇變勃發當初叛亂部隊のため狙撃され身に三彈を受けたが、いづれも急所を外れてゐるため生命には別狀ないとのことである、しかしながら左頭部に受けた一彈は神經系統を冒してゐるので假令釋放されて歸京しても再び政界への復歸は到底不可能と解せられる

東拓總裁更迭

【東京國通】東拓總裁の更迭は二十一日左の如く正式に發令された

從六位 安川雄之助 東拓總裁被仰付
勳四等 高山長幸 依願東拓總裁被免

張全國將領に合流を勸誘

【張家口廿一日發國通】張學良氏は西北剿匪司令部を取消し新たに抗日臨時聯軍委員會を組織、自ら委員長に就任せる旨發表、全國軍界將領に向つて盛んに合流方を勸誘しつゝあり當地冀察當局にも勸誘電到着の模樣であるが、各將領共冷靜傍觀の態度をとつてゐる

趙尙志匪團にソ聯人顧問あり

武器糧食もソ聯より補給

佛山事件の突發はソ聯が滿洲國東北部國境一帶に蟠居する匪團と密接な連絡を持ち、匪團は糧食、彈藥などの大部をソ聯より受けてゐることを暴露したが、さらに趙尙志匪團は鮮滿匪各一名をして佛山對岸のソ聯軍と無電連絡をとつてゐたことおよびソ聯人二、三名が趙尙志の顧問となつて滿洲國內匪の指導に當ると共に糧食、彈藥の補給も右ソ聯人の手を通じて行はれてゐることが判明した

國民黨の專横が西安事件惹起

冀東政府が支那全國に通電 防共再覺醒を宣言

【天津廿一日發國通】冀東防共自治政府は長官殷汝耕氏の名において宋哲元氏および各省文武要人、全國著名の士に宛て廿日夜左の如き通電を發し、防共再覺醒の宣言を發したが、時節柄注目を惹いてゐる

西安事件勃發しまさに旬日に垂んとす、詳報未だ判明せぬが、これ國民黨專横々暴の結果である、即ち國民黨政府は容共に始り剿共に轉し又連共となる、國民黨の矛盾撞着實にかくの如しこの間わが十數省の地域と數千萬の人民を驅りて共匪蹂躪に呻吟せしめ離轉沛の慘禍は既にその極に至る、いまや又國民黨自瀆の運命は共禍をしていよいよ蔓延せしめ危機將に焦眉にせまり社の危機將に終日をまあり得ざるの勢である、この情勢下において今日までよく支持し來れる所以は蔣介石氏一人に倚存せるのみにして蔣氏顚覆するやたちまち常人なすところを知らずその蒔く赤色種子は全國に瀰漫せんとしてゐる、汝耕等共禍の横流と黨人誤國の實情を坐視するに忍びず、去歳防共自治政府を宣布せるは實にこの見地に立脚してゐる、この非常時において國家の更生の道を拓かんとせば速かに國體を共和に復興し五色國旗を高建し、群策群力を集め共に國是を議すの道あるのみ、即ち共和政府を改組し睦隣と防共の國策を確立せんことを願ふ

中央軍の包圍陣成る

【上海廿一日發國通】當地軍界の消息によれば、約卅萬と稱される中央軍地上部隊による西安包圍陣は既に八分通り完成した模樣で空軍部隊は支那空軍の至寶と言はれる飛行教導隊長毛邦初氏の率ゐる精鋭九ヶ中隊(約九十機)が事件以來急造した二ヶ所の飛行場に集結されてゐる、これに對し張學良軍の空軍勢力は中央軍の約三分の一の三十六機で、その大部分は戰鬪偵察機若くは旅客機で地上部隊の兵力はもとより空軍の戰鬪力においても中央軍とは格段の差があり武力衝突をみた場合、張學良軍が地の利を得て陝西の天險を死守するとも勝敗の數は既に明かであるとみられてゐる

皇道政治確立に純正護憲運動

時局協議會聲明發表

【東京國通】皇道政治の確立日本主義陣營の統一を標榜する時局協議會第一回會員懇親會は廿一日午後二時半より麴町寶亭で開會、橋本欣五郎、赤松克麿兩氏以下會員二百、來賓として頭山滿、建川、小林兩中將等參集、橋本欣五郎氏の左記要項の聲明書發表につゞいて頭山滿氏の聲明書發表あつて懇親會に入り、會員相互間の意見交換を行ひ、同五時過ぎ散會した、聲明書要項左の如し

時局協議會は全國忠良の國民を動員し皇道政治の確立純正護憲運動をめがけて直往し渾然一如の日本帝國を完成し、悠久なる皇統を伸張しもつて國難打開に向つて邁進せんことを期す、これがためには第一着手として國內充實强化の四大障碍たる個人、民主、唯物、功利思想の上に立つ既成諸勢力淸算の目的を最も速かに達成せんとするものである

面目を一新した特別市の業績(中)

豐樂市場、市立病院の新設

市民の衛生的見地より施設された

水道事業 は前年度に引續き加入申込者增加し一日配水量は平均二千四百立方米、一人一日平均配水量は〇、〇七六立方米を示してゐる、これを給水栓數に就いてみると二千七百七、戶數にして四千三百六十九戶、人口三萬二千八百七十八人の多きに達してゐるまた金額に於ては十月末までに十二萬一千四百四十四圓を上げてゐるがうち納付額は八萬七千六百卅二圓、未納金が三萬三千四百十二圓に及び徵收金額の三割近くになつてゐるのは注目すべき現象であり明年度に於ける水道事業經營の根本方針樹立に大きな指針となるであらう、「水は賣つたが料金入らず」では市の水道事業の行末が案ぜられる、本年中の給水工事費三萬五千圓、人件費その他を入れて十一萬二千六百圓、帳簿上に於ては八千四百四十圓の利益があるに拘はらず滯納金三萬三千圓に及ぶが爲に事實上に於ては二萬五千圓の赤字が出てゐる始末である、附屬地移讓、國都建設局の併合を控へて此の種事實上の赤字は將來に禍根を殘すもので明年早々除去の必要があらう、次に市の經營する

衛生施設 に就いて見れば先づ市立病院の誕生がある、特別市に於ける最も新しい設備を誇る同病院は十一月三日華々しく開院の名乘りを上げた建築費六十二萬圓、設備費十八萬圓計八十萬圓の巨費を投じて昨年七月起工本年十月竣工したもので近世式鐵筋コンクリート造地階共五階建約一萬平方米の宏大たものである特別市の躍進に一段の光彩を放ち市民への福祉も亦大きい 次に

社會施設 について回顧すれば救濟院の新築決定がある、現在南嶺にある同院は四百名の貧困者を收容してゐるが、更に收容者に授產作業をなさしめるため新築が計畫された工費十二萬圓、收容人員は千二百名であるが明年竣工の曉は現在の絨氈織、支那靴製造等が一段と擴大され一般カード階級の均霑は言を俟たず更に內容が充實されるだらう、本年一月以降よりの救濟院收容人數は七百卅七名、內退院數五百六十二名、死亡者百六十一名である、又市民の保健に重大なる影響を與へる屠畜に關しては本年二月新京屠宰會社が資本金卅萬圓を以て創立され近代的優秀なる設備で之に從事してゐるが十月迄の屠畜を數字に拾ふと、附屬地側に於て牛二千六百三十七頭、馬八百四十五頭、豚一萬六千二百六十二頭、羊四百七十一頭その他を併せて二萬四百八頭この屠畜料二萬千三百九十圓、特別市側は牛四千百九十二頭、馬四百六十五頭、豚二十萬二百四十二頭、羊千七百三十五頭その他を併せると二萬六千八百十六頭、屠畜料は一萬七千二百八十三圓を示してゐる、國都人口の增加に比例して屠宰會社の仕事も年々增加するであらう、次に特別市が一般消費者の便宜と小賣人の發展を計つて設立したものに永春路簡易市場と豐樂路小賣市場がある、永春路簡易市場は店舖百六十九で八月中に一萬七千五百圓、九月には三萬二千圓の賣上げを示し鮮菜、鮮魚、精肉がその八割を占めてゐる、また日本人消費者を目的とした豐樂市場に新市街に於ける小賣商店の經營可否をトするものとして各方面からの注視を受けて九月初旬開いたが九月中の賣上金は八千百二十九圓六十六錢であつたこれを廿七の店舖に割り當てゝみると一軒三百圓內外となり豫期したほどの好成績でなく一部には悲觀論さへ擡頭してきた、豐樂市場の營業狀態は興安大路を中心とする商店街の不振と相並んで新市街に於ける小賣業に大きな暗影を投じた、明年度に於ては今少し積極的に外交を基とした販賣法を採るの要があらう、永春路小賣市場の繁榮と豐樂路公設市場の不振は新市街經濟情況を如實に現したもので面白いコントラストであり本年に於ける大きな經濟的試金石とも云ふべきである

人事往來

(着京)

▲河本大作氏(滿炭理事長)二十一日
▲星野龍男氏(滿鐵)二十二日歸京
日來京ヤマトホテル
▲山內勝雄氏(大連火災)同
▲川田貫一氏(會社員)同
▲吉村偉秀氏(同)同
▲今井健五郎氏(朝鮮火災)同
▲岩倉呆三氏(滿鐵)同
▲山本邦之助氏(商人)同
▲宮脇昌氏(札幌大學教授)同
▲田代名兵衛氏(王子製紙)同
▲島薄榮一氏(國道局)同
▲渥美高二郎氏(商人)同愛國ホテル
▲山田嵩氏(協和會)同
▲佐藤紀之氏(滿鐵)同滿蒙旅館
▲谷內嘉作氏(會社員)同
▲甘田雅通氏(航空會社)同
▲山下貞夫氏(同)同
▲小山勝次郎氏(三菱造船所)同
▲大野壽龜氏 大和旅館
▲今元盛市氏(滿鐵)同吉田屋
▲林忠雄氏(關門警察署)同
▲鈴木龍吉氏(土木建築)同 大和新館
▲一柳庄助氏(同)同
▲工藤哲元氏(滿鐵)同
▲伊藤憲彰氏(高井商會)同
▲木下秀數氏(林業)同富士屋
▲武內功氏(メリヤス商)同
▲筒井壽男氏(日本電氣)同
▲丸田久幸氏(航空會社)同
▲保谷平太郎氏(日本電氣)同
▲山本松之助氏(同)同
▲淸水潔氏(同)向陽ホテル
▲石井彥太郎氏(窯業)同
▲園田比農夫氏(馬政局技士)同
▲岡崎虎雄氏(國際運輸重役)同
▲坂本綱市氏(滿洲特產工業取締役)同國都ホテル
▲藤田茂雄氏(國產電氣)同
▲山口幾太郎氏(日本機械商)同
▲乙武信孝氏(淸水組)同
▲西原寬直氏(イリス商會)同
▲原田耕作氏(朝鮮商工會社)同
▲白根勝利氏(王子製紙)同
▲三木義郎氏(同)同
▲岡本健一氏(綿布太物)同
▲阿部起三氏(特產工業)同
▲宮崎茂雄氏(大林組)同蓬萊ホテル

その日〱

生か死か疑はれる蔣氏が自炊してゐる由、見て來たやうな嘘でも物になりそうな話

□

建國以來の功勞者星野次長の昇格はおめでたいが廳長の壽命の先例を見ると暗くなる

□

滿鐵除雪費に惱む、店先の雪さへ除かぬ店では一物も買はぬことが除雪勵行の最善

□

同情週間締切り、分配方法の協議に、與へ得る身の喜びも增して背に腹はかえられず

□

送金して來るからと毎日豪遊の後が〃金送らぬ〃の電報無理はかゝつた方に

歌はぬ樂譜(十五)

山中峯太郎
水門讓二 畫

三年後(一)

けたゝましいベルの音に、家ぢうのものが、みんな目をさましたらしく、女中のおハマが電話口へあわてゝ驅けて行つた、じれつたさうに、話す聲が聞えて、するとおハマの足音が俊子の寢てゐる部屋へ縁側を傳はつてきた。と思ふと、障子のそとから、

『あの、お嬢さま!』
『えゝ、なあに?』
『箱根から、長距離でございますの、お嬢さまに』
『まあ、どなたからなの?』
『何んでも、岡さんとか申してゐられまして、わたくしにお話しが分りませんから』
『さう』

岡さん……それは、俊子と一緒に蔦屋旅館に泊つてゐてとても兩方から親しくなつた人、有名な女流聲樂家の岡澄江さんだつた。一人で病氣保養に來てる、さう言つてゐた——こんなに朝早くから、どうして電話を?

俊子は、不思議に思ひながら、起き上ると着物をかさねたまゝ、電話口へ出て行つた

『モシモシ、あたくし、俊子ですけれど』
『あゝお嬢さまでいらつしやいますか。こちらは、蔦屋の女中でございます。岡さまのお言ひつけでまことに、恐れいりますけれど』
『えゝ、御用は?』
『岡さんのお病氣が、きのふから急におわるくおなりでございまして』
『まあ』
『さても御迷惑とは存じますけれど小石川の叔母さまといふお方も、今日の晝までに、こちらへお見えになりますので、どうぞぜひ、あなた様にも、おいでを頂けませんでせうかぜひともお話申し上げたいことが、と、岡さんから、たつてのお願ひでございますの』
『さう、そんな御容子なの?……』
『たいへん、お熱も高くございますし、ゆふべから、こちらのお醫者さまが、ずつとお附き添ひでございますの』
『お大事にと申し上げてね、あたくし、家のものと、相談してみますから』
『かしこまりました。でも、ほんたうに、たつてのお願ひですからとわたくしにまで、拜むやうに仰有いまして』
『上れると思ひますけれどね兎に角一度、このお電話を切つて』
『では、くれぐれもお願ひいたしますから、どうぞ!』

女中の聲にも眞劍さがあふれて聞えた。俊子は、なんとなく寂しさうにしてた『岡澄江』の圓い眸をありありと思ひ出して、

——ぜひともお話しがあると言つて、何だらう?

電話を切つて、洗面所へ急ぎながら、

——わづか十日の交際だつたけれど、

さ、その箱根の宿屋に澄江さんと自分と十日の交際が、さんなに二人の心を結びあはせたかを、俊子は、しみじみと考へた。

女學校で五年間も、一緒の教室にゐたクラスメートさへ本當に心の底から打ち明けて話し得る人は、少いといふよりも、俊子には一人もないといつてよかつた。

それが、わづか十日の宿屋の交際だけで、初めて會つた時から、互に『いゝ人』を見つけあつた悦びを、そのまゝ深めて、離れ難い思ひがしてる、その『澄江さん』だつた。

——ぜひともお話しがある、さう言つて頼んで來た、その人の氣持が、俊子は、嬉しかつた。

——行くわ澄江さんに會ひに!

俊子は、洗面所で歯をみがきながら、急にもどかしい氣がした。

行かずにはゐられない、同性のなつかしさだつた。化粧など、あまり氣にしない俊子だつた。手ばやく洗面をすますと、すぐに部屋に歸り、自分ながら飛んで行きたいやうな思ひで、身仕度をしはじめた。

野球ファンに嬉しいニュース
來春國都の各チームに 配屬の選手決まる

春に先驅けて野球ファンにとり嬉しいニュース＝新京野球クラブ監督源川榮二氏は同クラブの陣容充實のため地元三チームより一足先きにさる七日上京、六大學リーグ戰を始め中等學校大會で活躍した新進有望の選手で明春卒業の滿洲就職希望者に對し同クラブ入部方の交渉を終て、二十一日歸京したが、左記選手の入部決定をみ、來年度シーズンから衆望を負つて西公園原頭に花々しい活躍をみせることゝなつた、なほ此の外數名交渉中の選手あり追つて決定をみるはずである

▲早稻田大學（投）長澤、（外）榮永、田山
▲法政大學（投）鈴木
▲高崎中學（外）大澤
▲前橋工業（投）鈴木
▲前橋商業（投）小出
▲伊勢商業（遊）石田

盛京時報卅周年記念 功勞者を表彰

在奉天盛京時報社は創立以來すでに滿卅年、滿洲における漢字紙の雄として着々社礎を固め滿文言論界に偉大なる業績を殘し絶大なる信用を博してゐるが、今回創立滿卅周年を記念して各種の事業を遂行する中の一つとして多年滿洲國科學界、文藝界、體育界に貢獻せる左記三氏に盛京賞を贈呈することゝなり、廿一日午前十時より本社においてそれぞれ賞狀および副賞授與式を擧行した

△科學盛京賞　哈爾濱醫科專門學校長　閻德潤
△文藝盛京賞　吉林高等師範學校教授　陶明
△體育盛京賞　文教部學務司總務科屬官　于希渭

歲末同情週間 廿四日分配委員會

十五日から開始された國都の歲末同情週間は二十一日締切つたがいろ〳〵の佳話美談を織り込んだ喜捨は二十日までに社會係へ屆けられたもの約九百圓、廿二日は早朝から市內の同情箱五十個を集め計算中であるがこれが分配委員會は二十四日午前十時から滿鐵事務局會議室で開催される

中等學校の 年末、年始

中等學校はいよ〳〵二十四日までゝ本學期を終り廿五日から冬季休暇に入り、新春を迎へて來月八日始業となる、たゞ中學校は既に十一月末日までが二學期で十二月から三學期になつてゐる、商業學校は二十四日午前九時終業式、始業式は一月八日午前九時三十分（改正時刻）兩高等女學校は二十四日午前九時終業式、始業式は一月八日午前九時三十分（改正時刻）一月一日の拜賀式は中學校午前十時、商業學校及び高等女學校は午前十時半からそれ〴〵擧行される

三笠町火事騷ぎ

二十二日午前九時三十分三笠町三丁目十四番地上海館から出火せんとした處を家人がいち早く發見消し止めたが場所柄消防隊も出動し人騷がせをした

大達前廳長 歸國の途に

大達前總務廳長は二十二日午後一時十分發あじあで多數官民に送られて內地へ向け出發した

奇病調査隊の 阿部、加地兩氏歸る

克山縣に於ける奇病調査のため同地方に出張中であつた阿部衞生技術廠長、加地細菌科長は廿一日豫定の調査日程を終へて歸京したが、同氏より民政部衞生司への報告に依ると

一、奇病は急性傳染病に非ざること
二、直接死因は心筋變性に依るもの

と判明、間接的原因たる心臟筋肉の膨脹原因に關しては未だ之を掴み得ず更に明年早々現地調査を行ふことゝなつたなほ黑山縣奇病調査に要した民政部關係の費用は約一萬二千圓、之に滿鐵、軍政部、關東軍關係の費用を合するとザツト二萬五千圓の巨額に上つてゐる

賣つた時計から 足がつく

二十日午後八時ごろ首都警察廳夏刑事、藤通譯が城內の古物商を洗つて見ると去る十六日午前一時ごろ長慶街電々社宅順天寮で盗難にあつた電氣時計を發見、店主を追及の結果住所不定無職劉志言（三十）が犯人であること判明したので苦心捜査の結果二十一日午後十時ごろ三不管を通行中の犯人を逮捕した

火保協會 創立總會延期

滿洲火災保險協會の創設に關し大連、奉天、新京の各實行委員は二十一日午後關東局、實業部等關係當局を訪問、協會成立に關する原案、內地に於ける連絡等につき種々陳情諒解を求めるところあつた、なほ協會創立總會は二十一日新京ヤマトホテルにて擧行されるはずのところ準備の都合で明年一月十日前後に延期された

星野總務廳長 新任挨拶

廿二日晴れの初登廳後星野新總務廳長は午前九時半國務院講堂に總務廳全職員を集め大要左の如き就任挨拶を行つた

總務廳長に就任した自分は從來の行きがゝりを棄て全く白紙にかへつて國務に邁進する考へであるから諸君も白紙で自分を援けてもらひ度い、又現下の情勢は內外ともに非常時であるがこの非常時は憂鬱なものではなく、前途希望に燃えた非常時であるから愉快にたのしく仕事を進めて行き度い

星野廳長は同十時參議府會議に出席、各參議に挨拶を行つた、なほ明廿三日午前十時總務司長會議に臨み同樣挨拶を行ひ、十時半宮廷府に參內、皇帝陛下に拜謁仰付られるはずである

駐滿大使館 聖旨傳達

滯京第三日の酒井侍從武官は本日午前十時五分宿所發植田軍司令官兼大使、澤田參事官以下の出迎裡に軍司令官々邸に入り、駐滿大使館に對する畏きあたりよりの聖旨傳達式を行ひ、植田軍司令官兼大使謹んで奉答、終つて同卅五分宮內府に參內、皇帝陛下に拜謁、十一時五分國務院新廳舍着張總理および星野總務廳長より滿洲國の政情を聽取し、同卅分國都建設局に至り屋上より國都の現況を視察、午後零時卅分宿舍軍人會館に歸還本日の日程を終へた

總務廳長 更迭披露

國務院總務廳長更迭披露は二十一日午後六時からヤマトホテルへ日滿各界代表二百餘名を招待、デザートコースに入り大達前廳長、星野新廳長の挨拶があり、來賓を代表して張國務總理謝辭を述べ寛いで歡談八時頃盛會裡に散會した

歲末の國境風景を 廿九、卅兩日放送
新京放送局劃期的長距離放送 內、鮮、滿人の融合實況を

新京放送局では來る二十九、三十兩日に亘り長距離放送の劃期的事業として圖們、延吉兩地を結ぶ歲末國境風景を全滿に中繼放送する、豆滿江をもつて距てる國境線は歷史的にも地理的にも由緒深く、その背後に藏せられる鑛物資源を廣く一般に認識せしめるとともに諸謠を交へた國境風景描によつて內、鮮、滿人の融合狀況を面白く放送するもので二十九日は午後五時二十五分から同五十分まで圖們國境風景を、三十日は午後九時三十分から同十時まで延吉で同地の妓藝家を總動員して催される演藝大會が放送されることになつてゐる

刑事を襲ひ恐喝未遂
一仕事をやる前に捕はる

十九日午後二時頃祝町四丁目モヒ屋金尙元方へ二邦人が來て「自分等は領事館警察署の刑事だがお前の家では禁制品を賣つてゐることを確めたから來たが禁制品を全部出せ」と威した擧句金を

強要

するので夕方やると云つたら立ち歸つたとの報に接した新京署刑事係では早速手配金方に張込んで待つてゐる所へ夕方「金を」と一邦人が來たので難なく逮捕本署に連行取調べたところ「自分が脅迫したのではなく三笠町杉山旅館に泊つてゐる酒井と云ふ男がやつたので田錫讓外一名方にも侵入脅迫したのである」との申立てに時を移さず杉山旅館に行つたが不在なので待つこと暫時何にも知らず安閑と歸つて來た所を逮捕し嚴重家宅搜索を行ひ本署へ引揚げた、彼等は鹿兒島縣薩摩郡、川內町宮の四十花園袈裟助（二七）山形縣東置玉郡屋代竹の森八十二酒井松志（二六）と云ひ花園はもと吉林榊組の土工をしてゐたが結氷期に入り失業して圖們でブラ〳〵してゐる時ルンペンをして居た酒井松志と知り合ひ二人相談して一つ大仕事をと警察官に捕へられた場合は決して何も云はず自殺すること、三年間後に事業の入金は花園から分配すること、此の期間は十二月一日より十五年十二月三十日迄とし裏切者は見付け次第銃殺又は其の他の處置をとる云云の文書を作成し兩人血判をもつて

契約

しなほ外に金持及び人生を美しく世渡りし弱きものを苦しめるものを征服するものなり、世をのろふ者は男女を問はず入名さす、花園の指揮には絕對服從のこと若し花園の命に從はぬものは銃殺す、事業には或る可く人命はとらぬこと反抗防害するものはこの限りにあらず等の入名血判書契約書を作成第一期事業にとりかゝらんとして十七日來京杉山旅館に投宿仕事始めをして直ちに捕へられたものである、なほ宿屋には双渡二尺五寸の日本刀などを隱してゐた

長春縣聯第二日

協和會長春縣聯合協議會第二日は二十二日午前九時より記念公會堂に於いて開會されたこの日から各代表の座席はU字型に配置しいかにも各地縣民の代表相集つての協議會にふさはしい情景を呈した、先づ前日設けられた宣誓文起草委員から次の如き宣誓文案を朗讀、一同これを可決した

宣誓文

滿洲帝國協和會康德三年度長春縣聯合協議會ハ回鑾訓民詔書ノ聖旨ヲ奉戴シ滿洲帝國協和會綱領ニ基キテ行動シ本會ノ理想的運營充實ヲ期シ以テ宣德達情ヲ普及徹底シ帝國國運ノ隆昌ト帝國協和會ノ向上發展ニ努ムベキコトヲ宣誓ス

右終つて議案整理委員より最初各分會より提出された議案は總數四十一件を數へたがこれら議案を檢討し同一性質のものは一括することとし結局會自體に關する問題三件、行政に關する問題九件、治安に關する問題四件、敎育に關する問題三件、財政に關する問題一件、金融に關する問題一件、その他三件合計二十四件に整理した經過を報告した、それより議案審議に移り會自體に關する問題のうち

一、分會存續に關する件は小八家子分會曹汝霖氏同地の特殊性に基き特殊分會として存續されたい旨を說明

二、分會常務役員を有給制としたき件

は萬寶山分會賈至滿氏が分會事務の圓滑なる運用のためにこれを希望する旨を說明した

三、縣聯合協議會實施時期變更方要望の件

は從來縣聯が政府の年度替り時期に實施せらるるため民意が直ちに翌年度施政方針に反映すること困難である、故に爾今翌年度施政方針並びに豫算決定前に實施されたい旨を小合隆分會畢海亭氏より要望した

次いで行政に關する問題に移り

四、被害農村罹災民救濟に關する件

本件は岕倫、大屯、小双城堡、小合隆、小八家子、米沙子、饒鍋店各地分會より要望せるものでありその代表として小双城堡分會郭振壓氏が提案理由を說明

本年度一般農村は春耕直後降雨多量であつたため全般に成績良好ならず收穫率は良好な地域で平年度の約八割程度で地形的に不利な地方は全く無收穫の所もあつた、ために住民の貧窮甚しく政府機關に於いて貧農救濟の具體的方法を講ぜられたい

と詳述、これに對し岸谷縣參事官より種々對策を考慮し居る旨を述べ殊に警備道路施設費より救濟に振り向ける豫定なることを發表、全代表の拍手を受けた、以上をもつて午前中の議事を終り休憩した

十三代の大臣に仕へた 陸相官邸の名物小使死亡

【東京國通】陸相官邸の主として知られた名物小使の關口嘉久治さん（六三）が駒込病院のベットでポックリ死んだ、關口爺さんは明治三十四年十月兒玉源太郎大將陸相時代陸軍省の小使として勤め大正十五年二月から官邸詰として楠瀨陸相から寺內陸相まで十三代の大臣に足掛け二十六年間忠勤をはげみ正直と頑固で知られた名物老人、今陸軍の首腦部でこの人の世話にならなかつた者は誰一人ゐない程だ

東京女師附屬小學生が 餅をついて 皇軍將士へ

【東京國通】女子師範附屬小學校では廿一日朝恒例により兒童のお餅搗を行つた、雪の寒さにもめげず六つの臼を圍んで先生の音頭と級友達の歌に拍手で元氣に杵をふるひ、のし百枚、重ね餅十五、大福五千個を搗きあげた、のし餅は陸軍省に獻納、滿洲の兵隊さんに贈ることゝなつた

長谷川放送局長歸任

放送資料蒐集のため吉林、龍井、牡丹江、佳木斯方面を視察中の長谷川放送局長は二十一日夜歸任した

田中善立氏來京

前愛知縣選出民政黨代議士田中善立氏（田中滿鐵新京事務局地方課長嚴父）は滿鮮視察の途二十三日午前七時十分着列車で來京する、なほ當日愛知縣人會ではヤマトホテルにて歡迎座談會並びに晚餐會を開催する豫定である

壽の藝妓獻金

新京三笠町料亭壽の藝妓一同は本年八月から銀紙運動節約週間を續け銀紙も相當量に達しまた現金も二十四圓餘に達したのでこれをとりまとめ國防婦人會日本橋分會明坂分會長の下へ送り屆けた、分會では直ちに新京支部に送附支部事業資金として繰入れることゝした

聖公會クリスマス

富士町聖公會では二十五日午後五時から記念公會堂でクリスマスを擧行する

組合基督教會のクリスマス

老松町普通學校前の組合基督教會では二十五日午後四時半より教會並日曜學校合同のクリスマス祝會を開き最近赴任の高橋牧師を中心に信者一同大人子供打混りて各種の餘興に一晚を樂しく過ごす筈

郵便局の窓口で

余日少なき歲末に乘つて小包の窓口に殺到する內地行の小包は怒濤の如く中でも市內吉野町栗新よりの甘栗の小包が山の樣に積み上げられ斷然多く毎日二、三百個位と言ふから大したもの甘栗は何せ滿洲一の名物でありそれに一個七百匁迄は免稅で取扱はれる由栗新は責任を以つて全部新京より撰り技拔き上等の品を直送して居るので仲々好評されて居る因に栗新の電話は三・六八二〇番　廣告

鑛發社屋竣工

豫て大同大街に新築工事中であつた滿洲鑛業開發株式會社新社屋はこのほど竣工をみたので廿二日午後三時より同五時まで關係者を招待披露を催し、廿三日新社屋に移轉執務す

吉林醫院長來社

吉林國立醫院長兼附屬醫學校長醫博永井入雄氏は醫學校藥王寺賢太、龍津久次郎兩氏と新京移轉挨拶に來社した

割烹松翠開店

吉野町公會堂前のもと"二葉"は今回割烹"松翠"として全く新築成つて開店、二十日午後六時から各方面を招待披露の宴を設けた

電業忘年會

電業會社では廿日午後六時より千鳥に出入記者を招待、忘年會を兼て懇親の宴を張つたが主客側より末網秘書役、須藤文書課長、古城業務課長、前田文書係主任出席し主客歡を盡して同九時半散會した

三上和志氏講演

一燈園三上和志氏は二十六日午後三時三十分來京左の日程により講演をなすが本年掉尾の講演だけに各方面多數の來聽を望むと

▲二十六日午後保線區、社員會青年部▲二十七日新京驛、二十八日新京驛

吉田歐亞局課長 南洋視察

【東京國通】南洋各地を視察することゝなつた外務省歐亞局第三課長吉田丹一郎氏は廿一日午後三時東京驛發西下した、二十二日門司出帆の蓬萊丸で臺灣經由約二ヶ月に亘り東洋各地を視察し二月上旬歸京、有田外相に視察報告を行ふ豫定である

滿鐵二理事

滿鐵理事中西敏憲、武部治右衞門兩氏は事務打合せのため二十三日午前七時十分着列車で來京する

龍崎大佐明日赴任

滿洲國軍政部顧問から長鯨艦長に榮轉した龍崎留吉大佐は二十三日午後一時十分發あじあで出發の豫定

早大教授逝く

【東京國通】浮世繪研究家として有名であつた早大講師ジョン・スチュアートハッパー氏は去る十九日夜心臟麻痺で澁谷の自宅で急逝した、享年七十三、同氏は廣東嶺南大學の創設者アンドリュー・ハッパー博士の令息で、一九一五年以來東京に在住、浮世繪に造詣深く、廣重ハッパーの異名もあり、最近日本のスケッチと日本の錦繪を出版した

畔田明氏逝去

【東京國通】長野縣選出無產黨代議士畔田明氏は扁桃腺炎のため廿一日午前二時赤坂の自邸で逝去した

あす（廿三日）

▲協和會長春縣聯合協議會第三日、午前九時、記念公會堂
▲ビューロー主催北支、上海視察團申込締切
▲赤十字巡廻施療、益發號其他

※今晚の主なる演藝放送※

▲七・〇〇混聲合唱（大阪）三浦靜子外▲七・三〇民謠ヴァラエティ（東京）裴龜子外▲七・五〇連續ドラマ「裸の町」（東京）友田恭介外▲九・〇〇常磐津「假名手本忠臣藏二段目」（大連）嶺島一郎外

天氣と氣溫

明日の天氣　南西の風晴
日の出　前　七時一一分
日の入　後　四時　四分
月の出　後　〇時　一分
月の入　前　一時一〇分
けふの氣溫　最高零下七度六　最低零下一八度三

映畫界下半期展望

（16）

朝日座の良心的企劃？

新京キネマはこの週を十五日で切り揚げ十六日より休館して内部改装にとり掛つたが不振のことゝしては、傍ら銀座キネマの開館も控へて、當然かく何らかの應變策を講ずる必要は認められるところで新装後のこゝへ寄せられる期待は少しとしない、とともに岸本氏のこの英斷は、豐劇と大量番組の提供を行ひ、十一日よりウフア「激情の嵐」と進出朝日座開館と僅か半歳ばかりの間の相次ぐ發展擴張ぶりとを合せて、嘗ての同氏の退嬰的色彩を全くかなぐり捨てたかの如き果敢極りなき猪突的大業として特筆さるべきものであらう。

朝日座は三十日より持越しのプロ「舊戀」「天明からくり草紙」「FP一號應答なし」を第一週に引き續き「百萬人の合唱」「江戸の春遠山櫻」「黒衣の處女」「理想郷の禿頭」「街の入墨者」「朝やけ」とともに大都「彌之八愛憎仁義」「松風村雨」の封切が敢行され、以後こゝには更に大都の作品が掲ることになつた、これはこの館のプロには當然加はるべきマークであると思はれるのであるが、開館以來二ケ月餘、意識的に大都級の寫眞を拒否して來たのは、一つの「良心」的企劃の故であつたと解釋するのであるが、如何やうなものであらうか、事實プロを檢べて見れば判ることだが、再映ものとは言ひ條、比較的質のいゝものが並び、量的である事とともに常に強力で押し切つたと言ふべきであらう尚中旬以後は「深川情話」「喰ふか喰はれるか」「戀の鋪道」「紺屋高尾」「三度笠なげ節道中」「海底の暴君」「エノケンの魔術師」「蒼空一萬哩」「元祿十三年」「俺は水兵」を經て現在の「霧笛の波止場」「最後の勝利者」「大學の籤柄紳士」「旅情一夜雛」に到るまで二十六を算する。

サボテン

千鳥に鯉晋と云ふ容姿端麗にして藝者らしい藝者がゐる、新京に來てから最早五ケ年の歳月を經たといふし、先日は放送もした位だから今更紹介するの要もないわけだが、最近トンと酒をやらない、と云つて別にアノ方面に發展してゐるのでないが、どうも目が惡くて診て貰つたらソコヒの初期とのこと、數ある岡惚れの彼氏の中でこのソコヒを治す勇士はありませんか、御座いましたら千鳥まで▲同じく丸姐さんとともに畫が非常に旨い、スケッチブックに澤山素描してゐるが相當な腕前なので、お谷が「本格的に書けよ賣つてやるから」と云へば應へて曰く「妾し何も金を儲けようと思つてやつてないの只好きだからよ」と一本とる末頼もしい限りだ

雜音

帝都はけふから「ジャンダーク」を續映して新興「兒故の春」「梧桐の唄」を配する番組三十錢を標榜してゐるところ御注目ありたし▼新京キネマの内部改裝なり廿三日よりはPCL「處女花園」にパラマウント「浪費者」RKO「起上る米國」を加へた三本立、こゝだけが堂々一番線を以つて八十錢興行を行つてゐるところ、仲々當り難い氣勢である▼かく見渡すと六館中四館までが三十錢の低料金である、全く御時勢のお蔭である

▽處女花園▽ PCL映畫、菊池寛の原作に基き田中千禾夫と深町松枝が脚色、矢倉茂雄が監督に當る作品、主演者は堤眞佐子、山縣直代、中野英治、伊達里子、椿澄江等で、上流階級に育つ四人の姉妹と、彼女達の前に現はれる唯一人の青年との交渉をとほして、原作者一流のテーマが強調される、音樂は紙恭輔、キャメラは友成達雄の擔任、豐樂、新京キネマ廿三日封切

新京滿商の新組織
貿易組合設立へ
附屬地輸入組合と緊密に連絡

滿洲國側輸入組合の設立に就いては過般來より市公署行政科、商會、商務會等が中心となり準備を急ぎ既にその大綱も決定したので廿一日午後一時より設立準備委員會を市公署會議室に開催した、市公署側より韓市長、植田總務處長董行政處長、滿洲國人側より王商務會長、張商會長、滿商代表十名、輸入組合側より久末理事出席、過般決定した設立要綱に基づき創立委員會の準備に關し種々協議を重ねた結果

一、批買組合の名稱を新京貿易組合に改稱

二、從來附屬地輸入組合を利用してゐた滿商は新設の貿易組合の組合員たるべきこと

三、取扱商品種別に依り各代表者を詮衡し之を委員として創立委員とすること

等を決定し年内に創立委員會を開催の運びとなつた、而して從來附屬地輸入組合を利用して日本品を購入する滿商五十名の一ヶ年輸入總額は五、六十萬圓に上り漸增の傾向にあるが、新京貿易組合設立の曉は附屬地輸入組合と緊密なる連絡をとり商品輸入の統制を圖る筈である、この結果在滿日本各縣駐在員及東京、大阪の輸出商組合等との商取引は圓滑に進捗し日滿貿易の根强き聯繫が成るものと期待され一般商側も好感を以て設立を切望してゐる

大連貿易館
滿鐵と折衝中

在滿邦商の仕入合理化その他による貿易助成の爲滿洲輸入會社では滿洲各市に貿易館を設置の步に進んでゐるが、今回大連市に現輸組ビル接續地或は西廣場空地七、八百坪の敷地に五、六十萬圓の豫算で建設計畫中で其の資金問題に付滿鐵と折衝中である

北滿移民適地
豫想より減少
約一割は既耕地買收要す

大量移民計畫の本格化に備へて滿洲國側をはじめその他關係各當局では相協力して十月初旬より全北滿にわたつて各省組の大調査隊を組織し十月初旬より全北滿にわたつて各省別に詳細な移民適地探査の現地調査を實施しつゝあつたが漸く一段落となつたものの如くである、傳へらるゝところによれば北滿各省に於ける移民適地面積は豫定された一千萬町步よりも遙かに少く、大體豫定面積の八割内外に止まるのではないかと見られるに至つた、すなはち濱江省内に於ける豫定面積は大體二百五十萬町步であつたが、調査の結果は精々二百萬町步程度で豫定面積の全部を得やうとする場合はどうしても一割内外の既耕地を含む土地を選ぶ外ない狀態となつたものの如く龍江省、三江省等についても大體同樣の結果を見るものと豫想されるに至つたがこの結果拓務省移民入植地は兎も角自由移民入植地としてはどうしても或る程度の既耕地買收を含まざるを得ない事情となつた如くで關係當局がこの點をどう解決するかは移民適地獲得上相當の重大影響あるものとして注目されるに至つたなほ注目すべきは最近農村景氣の恢復氣配が濃化して來たため農民の土地利用熱擡頭しその結果土地價格が既耕地、未耕地ともに一般に上騰氣配を示しはじめたことでこの點も移民適地獲得上の一支障と見られてゐる

と思つてゐる、經濟の發展は人類共存共榮の大乘的見地から實施すべく、徒に海外の神經を刺戟するが如きはつとめて避けなければならないと思ふ、自分は飽くも迄事業の遂行については不言實行をモットーとして實績を上げるやう努力したいが、擧國一致の支援協力こそこの際特に必要と考へる次第である

『不言實行』
新東拓總裁談

【東京國通】安川新東拓總裁は二十一日左の如く抱負を語つた

老齢にも拘らず東拓總裁の重大任を引受け今更責任の重大なるを感じてゐる次第である、東拓の使命たるや現時の洋經濟の實情に即してますます重大なるものあり將來の事業計畫については愼重考慮を拂はねばならぬ

商工會議所法續り
諸提案を審議
―全滿商議理事會開催―

【大連國通】第廿七回全滿商工會議所理事會は廿一日午前十時より大連商議會頭室において開催、哈爾濱、開原を除く全滿十三商議より理事、書記長出席

一、滿洲商工會議所法に關する件（新京提出）

一、滿洲商工會議所法制定實施の場合における最高、最低賦課率に關する件（齊々哈爾提出）

一、同法制定實施に當り滿鐵會社の入會または非入會の場合における補助金明確化の件（同）

一、同法制定實施の場合における外務省、關東局補助金明確化の件（同）

一、同法制定と否とに拘らず電々會社寄附金增額要望の件（同）

一、商店讀本刊行に關する件（大連提出）

一、滿洲工藝品協會設立に關する件（同）

一、滿洲興銀貸附手續簡單化に關し要望の件（吉林提出）

一、時差撤廢に伴ひ銀行の土曜半休制を實施せざることを要望の件（同）

など各議案について協議するところあつたが、廿二日は出席全理事打揃つて旅順に州廳を訪問、理事會の審議結果に關し陳情することゝなつた

土木建築協會
座談會開催

滿洲土木建築協會大連本部では二十二日午後四時より協會會議室に於いて本年度施工せし各建築及び土木工事について各請負業者間に種々意見發表及批評交換をなす座談會を開催する豫定である

東洋パルプの工場
圖們に決定す
來春着工し明後年秋操業

かねて圖們、延吉他六都市を候補地として物色中であつた東洋パルプ股份有限公司は水質その他から圖們を最適地と認め米田高橋兩社員赴圖し交涉中であつたが領事分館警察側の靈力に依り無事交涉成立八日調印を了し九日發表された

一、場所……圖們市内より十六粁石峴

一、工事費…五百萬圓

一、明後年秋より操業

一、用材は三岔口産ワリ松（ヘーースン）

一、資本金…一千萬圓（半額拂込）

一、明春解氷早々着工

一、初年度生産額一萬噸次年度より一萬五千噸

一、工場使用人員五百名

尙工場敷地と決定を見た石峴では土地發展會を組織し不當地價を排し出來るだけ工場の要求に應ずることを決定したが車輛工場保稅倉庫の決定の報にいままた圖們にこの朗報は市民を歡喜せしめてゐる

水力發電の事業に
滿洲國の進出
事業主體電氣局新設せん

低廉なる動力資源の確保は産業開發に於ける重要なるポイントであり、多角的な滿洲國産業五ヶ年計畫に於いて當然着目せらるべき新事業であり明年度から水力發電計畫が實行に移されやうとしてゐるのも當然の歸結と見ねばならぬ滿洲國では明年度より水力發電事業に進出する豫定で、送電配電以外は國營により、事業主體としては特別會計による電氣局を新設し、第一着手として第二松花江四十萬キロの水力發電事業に對し積極的の投資をなす計畫でこれがための土地買收、堰堤工事に着手する筈である、松花江水力發電に對し計上される豫算は約一千萬圓と推定されてゐる、又鴨綠江百萬キロの特殊會社による發電計畫も滿鮮當局間に進められてゐる模樣である滿洲國政府當局では目下水力電氣委員會を組織して計畫の綜合的指導に當るほか、電氣つて滿洲國の電氣事業界は新しい樣相を帶び、進んで安價な動力を供給することによつて滿洲國産業の發展を促進する有力な杆となるであらう

滿洲紙工
明年五月操業

大阪に於て創立を計畫された滿洲紙工股份有限公司は去る十二月二十日資本金三十萬圓全額拂込濟で創立、牽天鐵西に工場設備を急いでゐるが機械備付の關係上その操業は明年五月頃になるだらうと云はれて居る

東洋紡績の
株主配當据置

【大阪國通】東洋紡では廿一日定時株主總會を開催、當期利益金處分案（普通配當年一割二分、特別配當年六分共に据置）を附議可決した

公社債綜合課稅に
反對を決議す
―三都手形交換所總會で―

【東京國通】東京、大阪および名古屋三都手形交換所ではそれぞれ廿一日臨時總會を開き公社債の綜合課稅に對する反對をはじめとし金融關係の稅制改革に對し反對あるひは修正を要望することに決定、これに關する決議をなした

土建ニュース

決定工事

▲入船驛出發線一線增設に伴ふ信號裝置改築工事　●大連鐵道事務所特命　五十九圓三十一錢　中村塗裝

▲中央試驗所頁岩油洗滌裝置新設工事　特命　三百七十七圓五十四錢　日笠製作所

▲大連驛新築に伴ふ地下道及團體昇降口電柱配線新設工事　特命　二百十圓　野口電氣

▲大連檢車區電氣檢查所增改築に伴ふ瓦斯鎔接室空氣管增設工事　特命五十四圓　日笠製作所

豫告工事

▲大連鐵道工場シャーリングマシン上家新築工事　●大連鐵道事務所　開札　十二月二十一日午前十時

商況欄
（十二月二十二日前場）

海外經濟電報

倫敦銀塊　二一片一六分五
同　先限　二一片四分一
紐育銀塊　四五仙四分一
孟買銀塊　五二留比一六分二
米英爲替　四弗九〇仙八
米日爲替　二八弗六三
米支爲替　二九弗七一
スチール株
アナゴンダ株
英日爲替　一志二片〇
英支爲替　一志二片二
日印爲替　七七留比八

▲米棉

現物　一二仙
一月限
三月限
五月限
七月限
十月限
十二月限

▲印棉

ブローチ
オームラ
ベンゴール

▲市俄古小麥

十二月限　一弗三八仙
五月限　一弗三三仙

金銀市況

▲カルカツタ麻袋
七月限　一弗一七仙八分三

●上海標金
昨引　二三八、五
本寄　二三八、〇

爲替相場

▲上海爲替
▲日本向
第一回　賣　一〇三、二〇　買　一〇三、二五
▲倫敦向
第一回　賣　一志二片一六分七　買
▲紐育向
第一回　賣　二九弗一六分九　買
▲大連爲替
▲上海向
一〇三、〇〇
▲阪神日米爲替
第一回　二八弗八五分
▲阪神日英爲替
第二回　一志二片一六分三

各地株式市況

▲東京株式（短期）
▲大阪株式（短期）
▲大連株式（短期）
▲奉天株式（短期）

各地商品市況

▲大阪棉糸
▲大阪棉花
▲大阪人絹

各地特産市況

▲大連大豆
三等現物
●同　豆粕
●同　豆油

新京取引所市況
（十二月廿二日前場）（一石値段）

現物　寄引　出來高
大豆
高粱
小豆
玉蜀黍
包米
●大豆
●高粱

水曜　己卯　友引　平　壁宿

●一白の人　求めずとも利潤自から湧き出づる幸運の日　壬と癸と丑が吉

●二黑の人　心に期したる事は猶豫なく計畫るに吉し　乙と丙と戌が吉

●三碧の人　當て事と何とやら兎角外れ勝ちの日病注意　庚と辛と寅が吉

●四綠の人　人を强ひす我も强ひられず寛のあるが吉し　辛の壬と丑が吉

●五黃の人　障碍を物ともせず勇奮して寸前尺進すべし　巽と辛と戌が吉

●六白の人　骨は折るゝも撓まず進め次第に亨通する日　甲と丙と亥が吉

●七赤の人　斷崖の細道を夜歩きする如し足元注意肝要　乙と丁と戌が吉

●八白の人　辛苦の果ての朗かさを見るが如し起業に吉　辰と巳と戌が吉

●九紫の人　人の爲めに迷惑を受くる事あり世話事は凶　庚と辛と壬が吉

大正九年十月二十四日 第三種郵便物認可　昭和十一年十二月二十三日　新京日日新聞　（水曜日）　第四千九百九十六號　（一）

新京日日新聞

朝刊　【本紙朝夕刊十二頁】

本紙定價 一部五錢 一ヶ月壹圓五拾錢 郵税一ヶ月拾五錢　廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢

發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社 電話〔編輯局專用③二二二五 營業局專用③三三〇〇〕 發行人 十河榮忠 編輯人 松本勇 印刷人 水健內之介

大衆の要望尖鋭化し 止むなく起つた學良

手勢率ひ蔣氏を逮捕監禁 八ケ條の要求を提出

【天津廿二日發國通至急報】張學良氏の派遣せる密使が二十一日天津に到着し、張天津市長より冀察側要人に西安事變の經緯を報告するにおよびはじめて事件の全貌が明白となつた、西安事變は極めて計畫的なものであつて、十二日午前二時より行動を開始して西安市內は楊虎城軍が擔當し、華淸池は張學良氏が二ケ大隊を率ゐて出發、午前八時を期し一齊に蔣介石氏の宿舍を襲擊し、その際双方發砲し侍衞長蔣孝先氏は銃彈をうけて即死した襲擊部隊は直ちに奧に亂入したが、すでに蔣氏の姿は見えず、さらに裏山を搜查したところ逃走中の蔣氏を發見難なく逮捕し華淸池溫泉の宿舍に連れ歸り監禁するに至つた、蔣氏は現在なほ同溫泉內に監禁されてゐる模樣である

西安事件詳報

—張氏の密使冀察に報告—

中央要人數十名も逮捕

一方楊虎城部隊は西安驛より程遠からぬ中正門內招待所を襲擊、中央系要人蔣鼎文、齊元、朱紹良、陳誠、陳調元、蔣作賓、錢大鈞氏等十數名を逮捕、そのまゝ監禁したのであるが、この際邵元冲氏は二階より飛降り逃走せんとしたが重傷を負ひ死亡した、他の一隊は邵力子氏の私邸を襲擊したが、邵氏は不在夫人は拳銃を擬して叛亂兵の闖入を防がんとした爲却つて射たれ身に數彈をあびて即死した、蔣介石氏の生命についてはいまなほ安全であるが依然監禁狀態をつゞけてゐる、張學良氏が八ケ條の要求條項を提出するに至つたので事件發生前に西安市內において約四、五千の學生運動起り抗日宣戰即時斷行を張氏に迫つたので「全部余に一任せよ、余の胸中考ふるところあり」と語つたことあり、その要求內容殆ど全部は蔣介石氏に却下されたものである

整然たる統制下の行動

かくの如き尖鋭化せる大衆の要求と中央の壓力下に懊惱せる張學良氏が起たざるを得ざる環境に運ばれ、未曾有のクーデターを決行するに至つたものである、又もう一つの原因は蔣介石氏が張氏に對し直筆をもつて楊虎城氏の監視を命じ、楊虎城氏には張學良氏の監視を命じたことが判明し、兩者の激昂を買つたことである、爾來兩者の結合固く今回の西安事變が支那では珍しく統制がとれた行動となり成功を收めた原因をなした

宋子文氏報告に基き 中央對策を協議

【上海廿二日發國通】國民政府要人は廿二日何應欽氏を中心に臨時會議を開き宋子文氏の齎した西安情勢を基礎に深更まで對策協議をなしたが、宋子文氏の報告內容などについては今までにない嚴重な秘密が保たれてゐるところより張學良氏の態度以外に强硬で蔣氏の安全救出はもはや絕望とみられるに至つた

中央代表四氏、閻氏と蔣氏救出を協議

【北平廿二日發國通】黃紹雄、王樹常、王樹幹、莫德惠氏等は廿一日太原に入り、直ちに綏靖公署において閻錫山、趙戴文氏等と蔣氏救出に關して夜まで協議を行ひ、廿二日もなほ協議が續けられるが、確聞するに中央軍は廿一日から三日間攻擊を停止して張學良氏の最後的決意を促すに決定した模樣である

悲壯な決心で 宋夫人西安へ

【上海廿二日發國通】宋子文氏の歸京報告によつて國民政府の政治的妥協工作も望み薄となり、蔣介石氏の生命も最早風前の燈とみられるに至つたので、宋美齡夫人は夫君蔣介石氏の身を案じて自身西安に乘込む決意を固め、廿二日午前八時南京發飛行機で兄宋子文氏同乘西安に急行した、西安到着の上は豫て親交ある學良氏と會見、夫君の釋放方を哀願、場合によつては蔣氏を一時南京へ歸還せしめるため一身を犧牲にして夫の身代りとなつて西安に留まる覺悟で自ら虎穴に向ふものといはれる

前共產黨書記長 山西軍に蹶起促す

【東京國通】傳へられるところによれば、中國共產黨の領袖で前中國共產黨中央局書記長周恩來氏は十七日太原において今回の西安事變につき張學良氏と共產軍との關係を述べ、山西軍の蹶起を促して西安に向つた模樣であるが、學良軍と共產軍の間には既に攻守同盟が締結されてゐることは自明のことゝみられ、かゝる關係から山西當局が張氏對中央の調停に二の足を踏んでゐるものとみられる

イタリー外相 學良の自重を要望

【ローマ廿一日發國通】イタリー外相チアノ伯は總領事ならびに公使として支那に在勤してゐた當時から張學良氏と親交を結んでゐるが今回のクーデターにつき深く學良氏の行動を遺憾とし廿一日次の電報を送り自重を要望した

貴下は余の親友である、しかし貴下が共產黨に加擔するならば貴下は余の仇敵となるであらう、現下の支那は蔣介石氏なくしては存立出來ない

國府の混亂に乘じ 人民戰線派暗躍

學良支持叫び上海學生動搖

【東京國通】上海よりの情報によれば、西安事件による時局膠着の隙を狙つて上海を中心とする人民戰線派の活動は表面化して來た、すなはち上海の學生救國會は去る十五日にまた全國救國會は十七日にそれぞれ大會を開き、ともに學良軍討伐絕對反對、政府の改組斷行、對日即時宣戰、容共政策の實行等の決議をなし積極的に張學良氏支持の潛行運動を開始した、上海警備司令部および公安局ではこれ等救國會の活躍に對しては政府自體における親ソ派と蔣氏直系派の對立による內面的動搖の爲これ等救國會の暗躍に對する彈壓を徹底的になし得ぬ情勢にあるに乘じ救國會は迅速に上海の學生層に働きかけてゐるが、人民戰線の運動は事件解決の長引くにつれいよいよ本格的發展を示すべく北平と上海と相呼應して運動擴大の可能性がまして來た、他方中國共產黨前書記長周恩來氏は廿一日太原經由西安に赴いたといはれ、また駐支ソ聯大使館附武官レーピン少將の代表も十六日洛陽經由西安に赴いた

"防共の協力を期し 我らは鋒を收む" 蒙古軍司令部發表

【德化廿二日發國通】蒙古軍司令部では西安事件を契機とする中國內の動搖に鑑み對綏遠問題について廿二日正午左の如く發表した

世界人類共同の敵である共產主義の排擊については綏遠ならびに山西當局も全然わが軍と同意見と確信する、しかしながら從來防共の熱意と手段においてわれわれと一致しない點があつてついに今次戰火を交ゆることゝなつた、しかるに西安事件を契機としていまや中國は容共排共の二分野に分れるに至つてゐる、かゝる時代において主義を同一にしながら手段熟意の點において異なる點があるといふだけで依然紛爭を續けることは排共の陣營からみれば角を矯めんとして牛を殺すことゝなるおそれがあるこの見地からわが軍はこの際鋒をおさめ綏遠、山西の自覺を促すとゝもにその目的である排共工作をとつて行きたいと考へる、若し綏遠、山西にしてこの理を理解せずわが軍の進擊停止をもつてかへつて何等かの作爲あるものゝ如く邪推し或はわが軍の兵備の劣弱なるかの如く誤解して依然從來の態度を持續し大乘的見地に基く赤化防止の共同動作を拒否するにおいては我等は再び鋒をとつてその蒙を啓かざるを得ない

"支那の容共政策は 恐らく實現困難" 佐藤駐支武官歸來談

【神戶國通】駐支大使館附武官より軍令部出仕となつた佐藤脩少將は廿二日神戶入港の照國丸で歸來、午後零時廿五分三の宮驛發"つばめ"で東上したが混沌たる政變の支那情勢に關し左の如く語つた

私の得た情報によれば蔣介石氏は生存してゐるものと思はれる、蔣氏が國民の信賴を全幅的に受け國政も漸次改善されつゝある時に突如反蔣派に監禁されたことは遺憾である、十二月十二日の西安事件は支那にとつては實に

靑天

の霹靂であつたが、張學良氏に對する憎惡の念は漸次充滿してをり、この事件が直接支那の信用を害したのは事實であるが、これがため支那に內亂をまき起すとは考へられない、結局收拾の途は討伐か妥協かの二途であるが多分妥協が成立するのではないかと思ふ、蔣氏直系の軍隊は勿論痛憤してゐるが、蔣氏の生命安全が第一であつて討伐そのものは頗るデリケートな關係にある、妥協には張氏の要求を容れなければならぬが、その要求された政府改組案は全國各將領を網羅した國難政府として軍事政務を分離し軍事方面は國防委員會を組織せんとするものと

推測

される、また獨裁廢止は武漢政府時代の如きもので責任を負はず權利のみを主張する委員制となるのであらう、容共問題と聯ソ問題とは第三國との關係もあるから事實問題としては現狀より左傾せぬものと思はれる、對內的にも國內赤化は人心を離反せしめる關係上その防止に努めるとゝもに世人の注目を避ける手段を講ずるであらう、抗日の標幟を妥協條件として取扱ふか否かは重要問題であらうが、これを妥協條件としても直ちに實行に入るや否やは疑問である

大局的にみて日本はその事態の推移を監視するの必要がある

何、馮、宋三派鼎立 國府內の暗鬪激烈化

蔣介石氏監禁の報傳はつてから既に旬日を經過したが未だに其生死の程も眞僞不明なる狀態であるが、南京政府にては蔣氏救出策につき張學良に對し妥協、討伐何れとも確固たる方針も樹たず、徒らに時日を遷延してゐたところ各要人間には早くも此の混亂に乘じて自派勢力の擴張を計らんとする支那一流の權謀術數が行はれ、現在では左記要人が三派鼎立しその暗鬪は益々激烈ならんとしてゐる、即ち何應欽一派は程潛、沈鴻等保定軍官學校系の一團に擁せられて張學良即時討伐を主張し馮玉祥は于右仁、孫科の立法院系並びに陳果夫、陳立夫、C・C團等の共產系を抱へて妥協案を標榜し、この間にあつて宋子文は孔祥熙並らびに黃埔軍官學校系、蔣介石直系、藍衣社の大部とともに蔣氏の救出策を企圖してゐるが政治的主張を表面化するまでには至つてゐないと

支那赤化の脅威 學良の容共クーデター

十二月十二日西安において敢行された張學良軍のクーデターは全支那を擧げて混亂の坩堝と化さしめ事件勃發後旬日を經るも蔣介石氏の生死すら未だ詳らかにされず時局の前途は全く混沌……唯赤化支那の脅威のみがひしひしと感ぜられるのみである【寫眞は(上)蔣介石氏が逮捕された隴海線臨潼外城の華淸池、この溫泉はその昔楊貴妃が唐の玄宗帝と共にこゝに浴したといはれる由緒ある地である、(中)蔣介石氏隨行の南京政府要人連が監禁されてゐる西安驛前の招待所（中國旅行社經營）(下)クーデターの敢行された事件の中心地西安の繁華街鼓樓附近】

新漁約調印まで 現行條約の特權延長

【モスクワ廿二日發國通】ソヴイエト政府は新漁業條約の調印に難色を示してゐるが、廿一日夜重光大使はストモニアコフ外務人民委員部次長と會見した結果、ソヴイエト政府は新條約調印まで暫定的に現行漁業條約に基く特權を延長することに原則上同意した

岸總務司長東上

岸實業部總務司長は實業部關係の明年度豫算も決定したので、いよいよ產業五ケ年計畫案を携行日本政府の諒解を求めるため廿三日「ひかり」で新京發渡日の途に上ることになつた、なほ同司長の東上により實業部人員補充について商工省との間に人選詮衡をとげるはずである

長春縣聯（第二日目午後）

午前に引續き午後一時より被害農村罹災民救濟に關する件につき審議を續け宋縣長より協和會において縣下全般に對し義捐金を募集することは大いに結構である、よろしく協和の本義に基き餘裕あるものが貧しい者を助けてやつて行くといふやり方でこれを進めたいと述べ更に小川省本部事務長縣下の協和會員數は四千を數へてゐる、一人が一圓出せば直ちに四千圓の金は出來るのである、更に會員の努力により會員外からもこれを集め得るであらう、困窮者を救ふ精神これが取りも直さず協和會精神でありこれを實行することが協和會運動であると力說、本件に關しては更に代表側よりの提案もあり救濟委員會といふ如き組織をつくり自治的にこれを運用して行くといふことに一同の贊成を見た、この時萬寶山代表賈至清氏より緊急動議あり

明日は畏くも日本帝國皇太子殿下の御誕生日に當つてゐる、この日第三日の會議を開くわが縣聯においては五十萬縣民を代表し謹で祝賀の意を表する事にしたい

と提議し一同贊成その實施方法は縣本部役員に一任次いで

一、春耕貸款復活に關する件

を岫倫分會孫秀泉氏より說明これに對し縣公署委員より民政部の方針を解說する所があつた、次に

一、康德四年度春耕種子貸付に關する件

を米沙子分會呂蓮軒氏より說明その實施を要望した、これに對し岸谷參事官より縣公署において種子の購入及び配給の實を說明し更に省本部委員たる吉林省公署實業廳の李事務官より省內に於ける農村金融の現狀を詳細に述べ各種貸付金の返納に關し協和會員が率先協力ありたいことを要望したそれより都合により治安に關する問題の審議に移つて

一、警察官に對する旅費支給方考慮ありたき件、（萬寶山分會提出）

一、保甲制中班長を有給制にされたき件（同分會提出）

一、阿片密賣取締に關する件（萬寶山分會提出）

一、賦役免除に關する件（哈倫及び大屯分會提出）

以上四件を審議した、これら諸項に對しそれぞれ首都警察廳員及び縣公署員より說明するところあり殊に保甲制度の理想とする點につき懇切な解說を與へて一部に存した誤解を一掃し、また賦役免除についても甲長の善處方を要望した、午後四時十五分に至つて第二日の議事を終り代表一同及來賓は同五時から縣本部長たる宋縣長の設宴に臨んだ協議會第三日はけふ午前九時から同じく公會堂で開催される

切角立派な男に生れながら三十數年間女になりすましてきた物好な男があつて世間を騷がせた內地に▼今度は科學の力によつて男女を御意のまゝ自由自在に產ませたり▼完全な女性をちよつぴり手術して忽ち男性にかへてしまつたり▼まるで造物の神糞食へといふ新造物主が現はれた▼この造物主は東大農學部教授增井淸博士と理化學研究所員鵜上三郎學士の兩名▼どちらも雞と共同生活すること二十年"雞博士"の異名ある位雞とは仲好しで詳しい▼今のところ人工で雞の雌雄轉換を行ふまでに進んでゐるが▼博士らはこれを哺乳動物から更に人間へまで研究を進めつゝあり▼人間の性の轉化も問題でないといふ自信をもつてゐるらしいから▼やがて男が女裝し女が男裝したりする必要はなくなるだらう▼そうなると人間創造以來の心に宿つた幻想に初めて實現の光が射すことになる▼自然の力の偉大さに驚く我々はその自然を征服する科學の力の偉大さに自づと頭が下るではないか

電燈、電動力及電熱料金改正

今般弊社新京特別市新設市街及同城內の電燈、電動力及電熱料金を左記の通改正し康德四年一月一日より之を實施致します。

◎改正料金

電燈の部

一、從量燈料金

（イ）準備料金　一燈一箇月に付

燈數	新料金	舊料金
二十燈迄の分	滿洲國幣 一角三分	新設市街及城內 一角四分
二十燈超過五十燈迄の分	同 一角一分	同 一角二分
五十燈超過の分	同 八分	同 九分

（ロ）電氣料金　一キロワット時に付（單位滿洲國幣）

一燈當平均一ケ月間の使用電力量	新料金	舊料金 新設市街	舊料金 城內
六キロワット時迄の分	一角一分	一角二分	一角五分
六キロワット時超過十五キロワット時迄の分	九分	一角一分	一角三分
十五キロワット時超過の分	七分	一角	一角二分

二、定額燈料金

（イ）夜間定額燈料金　一燈一箇月に付（單位滿洲國幣）

電球容量	新料金	舊料金 新設市街	舊料金 城內
十ワット	四角五分	五角	七角
二十ワット	六角	七角	一圓五分
三十ワット	七角五分	八角五分	一圓三角
四十ワット	九角	一圓五分	一圓六角
六十ワット	一圓二角	一圓四角	二圓一角五分
百ワット	一圓八角	二圓一角五時	三圓三角

（ロ）門燈軒燈及街路燈料金　一燈一箇月に付（單位滿洲國幣）

電球容量	新料金	舊料金 新設市街	舊料金 城內
十ワット	參角貳分	參角五分	四角九分
二十ワット	四角五分	四角九分	七角四分
三十ワット	五角參分	六角	九角壹分
四十ワット	六角參分	七角四分	壹圓一角二分
六十ワット	八角四分	九角八分	壹圓五角壹分
百ワット	壹圓貳角六分	壹圓五角二分	貳圓參角壹分

◎電動力の部

一、低壓電動力料金

（イ）準備料金　契約容量一馬力又は一キロヴオルトアンペア一箇月に付

新料金	舊料金 新設市街	舊料金 城內
滿洲國幣 一圓五角	一圓五角	一圓五角

（ロ）電氣料金　一キロワット時に付（單位滿洲國幣）

一箇月總使用電力量	新料金	舊料金 新設市街	舊料金 城內
一千キロワット時迄の分	三分四厘	四分	四分六厘
一千キロワット時超過五千キロワット時迄の分	二分八厘	三分四厘	四分
五千キロワット時超過一萬キロワット時迄の分	二分六厘	三分八厘	三分八厘
一萬キロワット時超過の分	二分四厘	三分	三分六厘

二、高壓電動力料金前號料金の五分引とす

◎電熱の部

一、電氣料金　使用電力量一キロワット時に付

新料金	舊料金 新設市街	舊料金 城內
滿洲國幣 四分	四分五厘	五分

二、最低料金　契約容量一キロワット當一箇月の最低料金を左の通とし一箇月間の電氣料金が之に滿たざるとき又は全然使用せられざるとき之を申受く

一キロワット一箇月に付（單位滿洲國幣）

契約容量	新料金	舊料金 新設市街	舊料金 城內
四キロワット迄の分	一圓五角	一圓五角	二圓
四キロワット超過の分	一圓	一圓	一圓

尙詳細は弊社新京支店に於て御說明申上げます

康德三年十二月廿二日

滿洲電業株式會社

社説

縣聯に聴く民意
長春縣本年度協議會の議案

一

去る二十一日から本日まで新京に於いて協和會本年度の長春縣聯合協議會が開催されてゐる。それはいはゆる宣德達情の實際的な交流を示す場面であり滿洲國政治の特殊性獨自性の具現として注目さるべきものである。この縣聯の任務の一つは協和會それ自體の内部の問題に關するものであるが、も一つの任務は對外關係に關聯してゐる。すなはち縣公署、市公署その他の官憲と分會代表とが國民生活の改善向上に關して協議すること、すなはち官の宣德と民の達情とが相交流してこの國の國利民福が圖られることである。いはゆる無黨無偏、誠信を以つてすることの會議により優れた成果があげられることはわれわれの切に期待するところである。

二

いま本年度の長春縣聯に各地代表によつて提出された議案を見ると、實質的には經濟問題に關するものがその大部分を占めてゐることが知られる。たとへば被害農村罹災民救濟に關する件に於いてはこの年の農家經營に於ける苦難が述べられ、極貧者救濟のために統制ある恒久的實施案を企劃實現すること、政府機關が被害狀況を調査し具體的救濟案を樹立すること等が要望されてゐる。また春耕貸款の復活が要望され、農村唯一の金融機關たる金融合作社の金融も水害に起因して地價の評定價格著しく低減して金融の運用が圓滑でないことが報告されてゐる、事變以來匪害を蒙り更に三年來の天災によつて農村の疲弊甚だしく現狀のまゝ放置する時はます〱沒落し農村の復興は困難であるから速かに對策を講じ農村の復興を圖る必要を痛感するといふ叫びの如き殊に切實な現地農民の聲であらう。春耕種子貸付の實施要望、賦役免除についての希望等も何れも注意さるべきものである。

三

しかし他方にわれわれは、小學校の增設を要望し、民衆教育館の開設を希望する聲を聞いた。經濟情勢に於いて暗い現實面が存在するにも拘はらず、縣民の間にこのやうな要求が生れてゐることは將來の明るいグリンプスを描くわれわれにも同慶の欣びを感ぜしめずには置かぬものである。今や治安は全く確立し住民は產業教育に關し漸く關心を有するに至つて兒童の就學を希望する者が多いといふ、それに對する適切なく施設は緊急の要事であらう。民衆教育館といふ如く社會教育の分野に亘つても要望は提出されるに至つた。國都を繞る國民大衆の明暗兩面の現實からあげられたこの聲を聽き、良き對處あれと願ふ。

英の超過巡洋艦保有 承認の覺書提出
二十一日吉田駐英大使から

【ロンドン廿一日發國通】英國政府はロンドン海軍條約第廿一條を援用、乙級巡洋艦五隻を保有する方針の下に日米兩國政府の意圖を打診したがロンドン駐剳吉田大使は本國政府からの訓令に基き廿一日午後英國外務省に覺書を提出回答した、覺書要綱左の如し

一、英國政府がエスカレーター條項を援用して乙級巡洋艦を保有するごとには異議はない

一、但し英國政府が巡洋艦超過噸數を保有すれば日本政府も亦潛水艦を保有するかも知れない

以上の回答に基き英國政府はいよいよ正式に日米兩國政府に對しエスカレーター條項援用を通告する段取である

不當な鋼材の暴騰を抑壓す
海軍當局關係省に協力

【東京國通】海軍ではかねて鐵に關する新國策の再確立とその强力遂行を

要望 して來たが、明年度より開始の無條約狀態に處すべく編成された新軍備計畫の圓滿なる施政上

一、應急的對策としては思惑買或は賣惜み等による不當なる鋼材の暴騰を抑制すること

とし、さらに

一、恒久的對策としては現在の日鐵を中心とする需給統制に再檢討を加へわが製鐵業を劃一にするとゝもに適正なる鐵鋼の分配に資し得るやうになすべきである

との必要を痛感し陸軍、鐵道、大藏等關係各省と事務的連絡をとり商工省當同に對しこれが具體策を樹立しその實行方を要望してゐる、而して海軍としては無條約第一年の明年度においては既に新軍備計畫に必要なる鐵鋼の手當に關してはほゞ政策があり、さしたる困難を感じないのではあるが、問題は昭和十三年以降にあり到底現狀のまゝにこれを放置するわけには行かないからこの際

不當 なる鐵鋼の暴騰抑制と鐵に關する國策の再確立に向つて商工省當局等に協力することになつてゐる

茂山鐵鑛
日鐵が買收 下交渉開始

【東京國通】茂山鐵鑛開發に關し商工省と朝鮮總督府との間に意見一致を見、近き將來清津に熔鑛爐を建設する諒解のもとに三菱から日鐵に讓渡することに決定したが日鐵においてもいよいよ茂山買收の決意を固めこれが評價その他買收の下交渉を開始するに至り、近く技術部から現地に人を派遣して評價査定を行ふことになつた、しかして茂山は三菱の手ですでに選鑛施設をなし第一期分として精鑛年百萬噸目標の生產準備を進めてゐるが、日鐵がこれをすべて買收評價するに際し相當難問題が豫想されてゐる

東京商大學長 廿二日正式發令

【東京國通】文部省は東京商大後任學長として上田貞次郎博士を推すに決定、廿二日閣議を經て正式發令することゝなつた

東京商科大學校教授兼同附屬商學專門部教授 上田貞次郎
任東京商科大學學長

東京商科大學々長 三浦新七
依願免本官

鹿兒島沖繩間 無線電話開通

【鹿兒島國通】待望の鹿兒島沖繩間無線電話開通式は廿一日午前十一時十分から鹿兒島那覇兩市公會堂において盛大に擧行された、廿二日から一般通話が開始されるが、南海の孤島沖繩と九州、本土間の交通通信上多大の貢獻を齎すものと期待されてゐる

蘭印向け絹布人絹布 輸出割當決定

【大阪國通】日本絹人絹布輸出組合聯合會では二十一日綿業會館に理事會を開き蘭印向け絹布および人絹布の輸出割當につき協議、左の如く決定した

一、蘭印政府より申出での本年度(明年三月末まで)輸出割當增加の件はその必要を認めずこれを拒否すること

一、來年度第一回(四月九月末まで)割當は絹布八十八萬ヤード、人絹布三千三百萬ヤードとすること

一、第一回特別割當を定める入札は明年二月十五日に行ふこと

豫算審議期間 廿五日とする
議制調査委員會で決議

【東京國通】議院制度調査會の豫算審査期間に關する特別委員會は廿一日午後二時より首相官邸に開會、種々意見の交換を行つた結果左の主旨を決議し二十二日の同調査會總會に林委員長より報告することゝなつた、決議要旨は左の如くである

議院法第四十條第一項及び第二項の豫算期間廿一日を二十五日としこれを第七十議會以後に適用することゝし、しかして右主旨に基き議院法を改正すること

海上勞働問題に處す 新海員法案
遞信省、今議會に提案

【東京國通】船員の保護監督を規定する船員法および海商法はいづれも明治三十二年の制定にかゝり當時にあつては進步的だつたが爾來四十年間にわたる海運界の進步社會狀勢の變遷は現行法をもつて現下の海上勞働問題を律するにおいては支障をきたすばかりでなく他面陸上の一般勞働に關しては近年にいたり工場法、健康保險法等幾多の社會政策的立法をみ海陸勞働者の保護監督に關し甚だしく均衡を失するにいたりこのまゝ放置することを許さない事態にいたつた、よつて遞信省では新船員法を制定し時代の要求に應じて海上勞働問題を調整し、もつて海上勞働者の生活安定を圖るとゝもに海運產業の開發その健全な發展を期することになり、右に關する法案を今議會に提案するに決定し、目下省議で管船局原案を基礎に審議中である

政友會の 國防外交對案

【東京國通】政友會政務調査會總會で正式採擇となつた國防外交部會の報告書主旨は左の如くである

△國防部會

一、軍人の政治干與は嚴にこれを戒むべき事

二、軍備と國力の調和に關しては十分の考慮を拂ひ軍備なりて國防力を減退せしむる事の弊に陷らざる事

三、作戰資材等に關しては將來の需要額を推定し、その生產增加の根本對策を確立せしむる事

△外交部會

打開策は當面の對策と恒久の對策とに分つものである當面の對策としてはソ支兩國との國交關係に重きを置き先づソ聯に對しては極めて强硬に且つ不信不義を責め國際間の道義に基き長年の既定事實たる漁業に關する條約に調印せしむべき適切有効なる手段を講じ、支那に對しては現在の動亂の見透しのつくを待ち兩國共存共榮の大方針の樹立を講ずべきであり、恒久對策としては外務當局が獨自の信念に基いて進退し、更に廣く人材を求め、不必要なる外交機關の擴充を排して現存機關の活潑なる發動を促すやう努むべきである

信託協會から
統制案修正意見書を提出

【東京國通】政府の税制改革案に關し信託界では強て不滿の意向を有してゐたが、業界の綜合團體である信託協會は廿一日丸の内工業俱樂部に緊急理事會を開き戸澤副會長以下各理事出席、左記の四項目にわたる政府税制改革案に對する修正意見書を附議決定し、同日戸澤副會長ならびに渡邊書記長はこれを携へて藏相官邸に馬場藏相を訪問、これを提出して藏相の善處方を要望した

△税制改革案に對する意見書

一、公社債利子、銀行預金利子および信託の利益に對する綜合課税を撤回し現行第二種所得税の存置を希望する

二、財産税の撤回を希望す

三、取引税の撤回を希望す

四、邦人課税の緩和を希望す

公使級の異動

【東京國通】有田外相は省内人事の刷新を期し相當廣汎な人事異動を行ふことに決定したがその手初めに廿二日の閣議に左の如き公使級の異動を附議發令することになつた、なほ桑島東亞局長の駐オランダ公使榮轉は目下アグレマン要請の手續をとつてゐるのでアグレマン到着次第閣議を經て年内にその後任の森島書記官の東亞局長任命と同時に發令の見込みである

任特命全權公使メキシコ國駐剳被仰付 總領事(バタビヤ) 越田佐一郎

任特命全權公使ラトビヤ國駐剳被仰付 大使館參事官(ベルギー) 佐久間信

ポルトガル駐剳被仰付 特命全權公使(ポルトガル) 笠間杲雄

任大使館參事官ソ聯邦在勤被仰付 總領事(青島) 西春彦

任總領事青島在勤被仰付 大使館一等書記官(滿洲國) 大鷹正次郎

支那の前途 豫言
本田蘇泉師

滿洲事變及び本年の日支問題等を的確に豫言したる數理哲學高等占術の本田蘇泉師は目下新京驛前神聖館に於て一般市民の運命鑑定に應じつゝあるが混沌として暗雲漲る支那の前途に就き左記の如く豫言を發表した

茲に昭和十一年十二月二十二日午前八時齋戒沐浴して天地宇宙の神靈に誓ひ數理哲學高等占術の原理に基き混沌として暗雲漲る支那の前途を占ふに五十二の神數を得たり此五十二の神數は儼えたる二才の小女が二十才の乳母を探す象にして支那の現狀を見るに彷彿たり而して此五十二の神數は明年の舊二月四日に至れば現在東南に居る四十五才の賢母が五十三才の父と力を合せ更に五月三日に至れば八子を引連れ太陽が沖天を徐行するが如く西南に進む象と活力を有するが故に四十五歲の韓復渠氏の如き偉人が五十三歲の宋哲元氏の如き人と協力して國政を執るに至るものと活歸豫言す(尚支那の四分五裂に就ては本年二月一日松井大將を主宰とする大亞細亞協會に於て豫言せしを以て此處に再錄せず)

石井漠氏 北平で大持て

【北平廿一日發國通】北平各大學生の容共抗日左派と親日中央擁護派とが西安事件を契機として思想闘爭に興奮してゐる際北平に到着した石井漠一行の舞踊團が支那側に大もてで各大學の演藝團體から講習方の申込みをうけ二十一日から北平キリスト青年會館で日支兩國人が盛んな藝術提携を行つてゐる、これは西安事件に刺戟され俄かに擡頭した學生の親日の現れと注目されてゐる

商況欄
(十二月二十二日後場)

○上海標金 前引 一二四、五

●上海爲替

日本向	一〇四、〇〇
第一回賣買	一〇四、二五
倫敦向	一志二片三二分七
第一回賣買	一志二片一六分九
紐育向	二九弗四分三
第一回賣買	二九弗一六分三

株式相場

▲大連株式(短期)

銘柄	寄	引
五品	一五、一〇	—
豆新		—
錢鈔		—
東新	一三八、七〇	一三八、四〇
滿鐵	五九、一〇	五九、一〇
二新	四七、四〇	—
日產		四七、四〇
鐘新	一七九、一〇	一七九、一〇

▲奉天株式(短期)

銘柄	寄	引
滿取	一三、九〇	一三八、八〇
東新	一三八、八〇	—
大新	六〇、〇〇	—
日產	七五、七〇	七五、八〇
鐘新	一三八、五〇	—
五品	一五、四〇	—
豆新	二〇、三〇	—
同甲	四七、九〇	—
電拓	三五、〇〇	—
東興	三三、七〇	—
滿毛	二六、五〇	—
優先	二一、〇〇	—
日營	六六、〇〇	—

手形交換高 (二十二日)

	票數	金額
金票	三五九枚	三〇一、九四〇、五一
國幣	三六六枚	七一八、四一七、一五

新京取引市況
(十二月二十二日後場)

現物(一石値段)

	寄	引	出來高
大豆	—	—	—
高粱	一六、三〇		三車

定期(混合百斤値段)

	寄	引	出來高
大豆 十二月限	六、四六		三二車
一月限	六、五一	六、五〇	二三七車
二月限	六、五一	六、五二	九車
高粱 一月限	四、三〇	—	一車
二月限	四、三七	四、三四	二車

鮮魚小賣相場
(廿二日) 百匁に付

品名	最高	最低
活鯛	一五六	八四
氷鯛	七八	六〇
小鯛	七二	五四
連子鯛	三八	三一
チヌ鯛	三六	二一
アマ鯛	四四	四〇
イセエビ	七二	六〇
車エビ	…	…
ブリ	三二	二四
ヒラス	四三	四〇
マナ	七八	三二
鮭	…	…
サハラ	…	…
スズキ	一二	…
赤ムツ	…	…
ニベ	…	…
サパ	二三	二〇
アチ	二二	二〇
メバル	八	…
ヒラメ	三六	一八
コチ	…	…
コノシロ	二三	二〇
ホーボー	…	…
キス	三五	一八
タコ	二九	二八
水蛸	一八	…
飯蛸	二二	二九
カニ	…	…
甲イカ	三一	…
サヨリ	…	…
アナゴ	…	…
アワゴ	三六	…
シジミ	六〇	五四
ハマグリ	一〇	…
ブリ	六五	四八

逃げ惑ふ匪團に最後審判の日近し!

北部東邊道の 滿軍討匪の劃期的成果

【通化國通】東邊道一帶に蟠居する匪團は滿軍今期の大討伐のため到る所山寨を燒拂はれ糧道を絶たれ追擊に次ぐ追擊のため潰滅

投降する

もの數ふるに遑なき狀態で全く滿軍の掃匪戰における輝かしい歷史的成果として刮目に値する

今後さらに東邊道匪禍の本を拔き、源を塞ぐべく徹底的討伐がつゞけられるはづであるが軍警の活躍による治安工作の確立とゝもに官民各機關の總動員によるこの地方一帶の宣撫工作は緊急事であり、一は他を俟たずして所期の目的を達することは不可能である

東邊道肅正工作はいまや

第二段の

過程に入ることを要求されてゐる、北部東邊道九縣五地區における最近の匪情ならびに討伐狀況は概ね左の通りである

△通化地區

この方面における討匪行は極めて順調に進行してゐる、過日通化縣東北方に紅軍約廿が現れたが、滿軍のため遺憾なく潰滅された、通化、寬甸西部縣境方面に

越冬地を

求めて落ちのびやうとする敗殘の鮮匪が通化、恒仁縣境に隱顯してゐるが、寧ろ投降の機會をもとめんとするものゝやうである、滿軍主力は主としてこの方面に重點を置き敗殘匪を遺憾なく殲滅してゐる

△輯安地區

この地一帶に勢力を張つた王鳳閣の部下の投降するもの續出、王鳳閣も滿軍の便衣挺身隊のためその本據を洗はれ、糧道全く絶たれ天命盡きたものか王鳳閣は例の如く妻子をつれて山間を縫ひ轉々と所在をくらましてゐたが、昨今つひに手足まとひとみてか腹心の部下李參議に妻子を託し、部下十數名と深山深く逃れ辛うじて命脈をつないでゐる、或は濛江方面に遁亡したとも傳へられるが

杳として

明かでない

南方の輯安桓仁縣境にある王系匪尙團、萬團も本月上旬以來四散し一部は桓仁南方沙尖子方面に追擊の矛を避けたが、なほ西方に逃れんとするものゝ如くである

滿軍は江岸の糧道封鎖と山岳中の便衣隊と互ひに呼應しあますところなく殘匪を掃蕩しつゝある、なほ天を摩して聳え立つ嚴寒の老虎山頂には首魁匪が隱れてゐる模樣で、これに對しても萬全の處置が講ぜられてゐる、混成一旅の主力と靖安軍騎兵團は輯安、桓仁縣境にある尙團匪の地盤を掃蕩、渾江を渉り南方より沙尖子東方に向つて南進する部隊と協力九日老黑山附近において

蝟集匪團

を完膚なきまでに擊破した、殘匪は西方に逃走した模樣である、去る九日通化東南方二十キロの西大　子溝方面に紅軍約四十が現れたが、友軍のため潰滅された

△臨撫地區

この地區は未だ國軍の本格的掃蕩が開始されてゐないが、吳義成、王德泰、萬順、曹國安等の共匪が依然として蟠居してゐる、あるひは濛江東南方に大々的移動をなしたかの如く宣傳し、とうくわいに浮身をやつしてゐることをみても滿軍の

糧道封鎖

に裁々たることが判る

金日成匪は九日夜長白縣二道崗の民家を襲擊する等依然惡辣を極めてゐる、この地區匪團剿滅のため增加された靖安軍赤澤部隊は七日長白縣十四道溝より北進、翌八日五次にわたつて曹國安匪に鐵槌を下し、これを西方に擊破、積雪の密林を目して追擊、九日獨水泉に部隊を集結、死傷者を收容した同部隊はさらに曹國安、金日成の兩匪團を徹底的に擊滅すべく長白、撫松縣境に勇躍前進中である

臨江を經

て北進せる赤軍部隊は松樹鑽附近の匪を掃ひつつ前進、本月十二日撫松に入り、朝陽鎭方面より轉進せる西島營も十日濛江に到着、續いて撫松に前進せる模樣である近く各部隊協力のもとに大々的掃匪が行はれる筈

△濛江地區

濛江縣東南方に一時有力なる匪團が出現したかの如く傳へられるが、地形、物資供給關係より推してこの一帶に大きな共匪團の存在は不可能であり、ためにする宣傳たることは明かである、輝南縣東北部には紅軍系趙匪に屬する十數名が發見されたがたちまち潰滅、跡を止めた、滿軍步兵第五團、第十七團の一部は濛江東南に進出したが、十七團主力は撫松方面に集結せる模樣

△金柳地區

執拗に抵抗した老二哥は昨今身邊の危險を感じて逃走したが、最後審判の日の近きを知つてか、投降の機運濃厚なるものが觀取される第三教導旅は興京縣下灣甸子西方の

山寨に潜

伏せる紅軍系寶山好匪を摘發、一擊にして潰滅したが未だ首魁匪を發見するに至らない、その他合流雜色匪四十を四散せしめてゐる

山岡部隊の 討匪狀況

【哈爾濱國通】山岡部隊發表

一、梅村部隊の河合部隊は十六日午後二時三十分頃五常縣長崗附近で天英、雲中飛の合流匪五十の據れる山寨を急襲、交戰一時間半の後これを擊退した匪賊の損害遺棄屍體十三、鹵獲品、捕虜若干、兵器多數、我方損害なし

二、下枝部隊の山田部隊は十五日拂曉慶城縣クンダリン附近で約二十の匪と交戰、これを擊退した、遺棄屍體七、鹵獲品多數、我方損害負傷二、上等兵盛下千歲、一等兵渡邊哲二

"東亞の盟主" 日本と共に戰へ

在哈白系露人排共大會場に雲集 赤色ソ聯の打倒絶叫

【哈爾濱國通】全滿に漲る排共運動に呼應して赤色ソ聯の打倒を標榜して蹶起せる在哈白系露人の排共國民大會は二十日午後六時より道裡工廠クラブにおいて開催、白系露人事務局を中心に各派白系露人を動員して定刻前早くも場內を埋むるの盛會を呈し會場には宣言決議文を大書してつるし「東亞の盟主 日本と共に鬪へ」「共產主義の撲滅を期す」等のスローガンを掲げて氣勢を煽りやがて定刻丸川協和會濱江省本部事務長の開會の辭についで宣言決議文の朗讀されるに及び會衆の熱狂はクライマックスに達し次で結城省本部長以下バクシエフ事務局長、靑年部代表ロッザニフスキー氏等交々起つて排共大演說の舌端火を吐き祖國を失ひ赤色革命を呪咀する叫びは場を壓した

十一月中の 東邊道討匪狀況 武勳燦、射殺匪七百に上る

×
××
×××

【奉天國通】屢報の如く東邊道における日滿兩軍の討匪行は今や最高調に達し各討伐隊は極寒肌をも凍る雪の山野を東奔西走し、治安肅淸の第一線に涙ぐましい活躍を續け、匪團擊滅の捷報は連日齎らされてゐるが十一月一日より同卅日までにおける第一軍管區下各部隊の討匪狀況をみるに戰鬪回數實に三百八十一回、射殺匪賊七百二、滿軍死傷百十五名に達し、赫々たる武勳の跡を如實に物語つてゐる

第一軍管區十一月中の討匪狀況左の如し

項目		數
戰鬪回數		三八一回
討伐匪數累計		一一、一六〇名
敵の損害	死	七〇二名
	傷	二六三名
	捕虜	二二二名
山寨覆滅		三〇九棟
人質奪回		一六六名
鹵獲兵器	小銃	一五九、
	同彈	五、二〇二發
	拳銃	一三五挺
	同彈	二三七發
	洋砲及び機關銃	一〇七門
滿軍損害 戰死	將校	七名
同	下士兵	三八名
負傷	將校	六名
同	下士兵	六四名

なほ射殺せる主なる匪首名左の如し

黑虎、靑天好、雙山、雙合、孫委員、安委員、高副官、張營長、仁義、得勝軍、九江好

海外ニユース

ドイツのスキーヤー達は未だ雪の降るのが待ち切れずグリユネワルトの森でスロープを藁で埋めて競技會を開いた、寫眞は一選手が藁の上めかけてジャンプの最中

黑河省の現況

產業、交通、治安に就て(二)

黑河省總務廳長　河內由藏

二、鑛業

1 金業　金業鑛

本省の金鑛業は同治年間(一七五〇年頃)露人によつて試掘されたるに始まり、光緒八九年間(一八八二年—一八八三年)には露支人蝟集して採掘に從事する者一萬數千人に達した、其後淸朝政府の注目する所となり北滿主要金鑛を官辨とし外人採掘を禁し、又他方露國は西比利亞業の振興を計り西比利亞の鑛山權を個人に解放せる結果採金業は全部支那人の手に移つたのであるが經營法の幼稚なると馬賊の橫行等に起因して漸次凋落に傾いた、然るに露國革命惹起し數千の支那鑛夫が西比利亞金鑛より本省地方に引揚ぐるに及び北滿金鑛業は劃期的發展を見るに至つたのである其後北滿事變により一頓坐を來したのであるが平和回復後再び多量の產金を見るに至り偶々逢源金廠が良金層を發見し、純利金三十萬元(實際は百萬元に近かる可し)の巨利を博するや金鑛公司相踵て簇立さるるもの三十に達した、然し共多くは投機的の泡沫會社であり又良金層の發見も無かりし爲民國十四、五年には一、二公司を除き大缺損を來し加ふると民國十八年露支事變の影響に依り殆ど破滅に頻したのである、然るに滿洲國建國さるるや馬占山の

兵變

其他の政治的不安は更に惡材料を加へたるも康德元年五月採金會社の設立に伴ひ本地方の官有鑛區は採金會社への政府出資により該會社の新有に歸する事となつた、而して該會社は同鑛區を請負により經營せしめ、現在に及んで居るが一、國境の政治的不安の解消により勞動資本技術の流入を容易ならしむること、二、物資價格が漸落の傾向にあること三、採金會社の統制により企業經營が合理的になりつゝあること、四金相場の漸騰等の理由により漸次發展の機運にある

採金會社は其の所有鑛區を一般民に委託經營せしむるに當り左の條件の一による

1採金會社は請負者に對し採金全部を會社に納入せしめ別に請負料として鑑金額に對する一定步合を給付す

2委託經營者は金利及貨利(金鑛經營者か金廠苦力に對し物資を販賣し之によりて得られる利益)の一定步合を採金會社に納付す

而してこの委託經營者は左の二方法により金鑛を經營する

1自帶金制度　金鑛事務所に於て苦力の生活資料を獨占販賣する苦力は其の採掘した砂金を以て食料品其他日用品一切を此の事務所より買はねばならない、其の價格は非常に高く主食物たる麵粉は仕入價格の三—四倍を賣られる、砂金の餘剩部分は苦力の所得となる、それは其の事務所或は砂金收買店にて賣却されるのである

2滿收金制度　苦力の採掘せる砂金全部を金鑛事務所にて强制買上をなし苦力は之によりて得たる金錢を以て金鑛事務所に於て經營する物資專賣所に於て生活資料を購入するのである、此場合金廠は砂金賣買の利鞘及び物資販賣による利益を得るのである

產金

の集散狀況を見るに滿收金制度に於ける產金全部及び自帶金制度に於ける物貨と交換納入せられたる砂金は採金會社を經て中央銀行黑河支行に買收され自帶金制度に於ける苦力の取得分たる砂金は附近の砂金收買店を經て黑河に集中され此處にて中央銀行に買上げられるのであるが其等收買店の多くが雜貨商等を營營する關係上、其の砂金の一部は中央銀行に買上らるゝ事無く商取引の決濟資金として哈爾濱其他の商人の手に渡る事もある、以前は「トルグシン」の手を經て露領に流出せる砂金もあつたが現在「トルクシン」廢止されたるを以て其の跡を絶つに至つた

黑河中央銀行支行にて買上げたる砂金數量は次表の如くである

2、其の他鑛業

本地方は未だ踏查行はれざる爲或は石綿を產すと言ひ或は鐵鑛ありとも稱せらるるが詳かでない唯石炭は其の存在明かであり、又試掘された事もあつたのであるが其等がさして有望なるものに非ざると本地方には石炭を需要する工業が發展せざりし事、燃料としての薪が豐富なる事、石炭の販路を有せざりし事等に起因し其等炭鑛は從來顧みられざりしも將來踏查實施と相俟つて發展するものと思考される

街の景氣打診

賣れ足の早い新年號雜誌 日の出早くも再版

「日の出」新年號は發賣前から大變な評判であつたが、蓋をあけて見ると成程その素晴しさに眼を見張る、附錄が三つ、その三つの附錄がどれもお景物的な投げやりなものでないことは流石に新潮社である。その一つは「世界現勢國防大地圖」だが、金のかゝるものをよく附錄につけたものだと感心させられる。今までの地圖の形式の上に更に日米、日蘇の國防狀態が一目瞭然のうちに分るのをならず、戰雲深くたれこめた極東歐洲の緊迫は、この地圖に鮮やかに知ることができるといつても過言でない。その二は「花形競艶名場面集」で映畫レビューの花形を網羅した如何にも春らしい大寫眞帖だ。名場面の說明は又小粒ながらピリリと利く名文句を配してゐるが、一家團欒の讀物には絶好のものであらう。その三は三角寬の「お龍妖艶記」、山窩物から探偵實話へかけて獨自の世界を持つ三角寬が、「日の出」の附錄のために書卸した堂々四六判の二百四十頁の探偵捕物實話。面白いことも比類なく獵奇的なことも隨一である。

この三大附錄を加へた本誌は又新機軸を出した讀物で全員を埋めた。新しき「日の出」の特色とならうとするものに金子八段の「將棋新戰術講座」がある。總理大臣として時めく廣田弘毅の「世に處する道」は二月號へかけて續くといふ萬人必讀の處世訓話、藤沼書記官長の「緊張と注意力」佐藤社長の「新しき世界への飛躍」等、共に新春劈頭の有益なる讀物たるを疑はぬ。

定評ある座談會は「新聞記者新年初笑む座談會」であるがこの趣向正に十二年度のヒット稱すべく、映畫界の新星、原節子を拉し來つた鶴見退助の「原節子純愛秘帖」など興味津々たる繪卷物である。カラー・セクションには「新年娛樂智惠くらべ大會」がある新年には附物の宴會用虎の卷この心得さへあれば、新年宴會に無藝の大食なんて引下る要もあるまい。新掲載小說には大佛次郎、吉川英治の兩人の長篇に加へて片岡鐵兵の長篇「風の女王」尾崎士郎の「吹雪の朝」子母澤寬の「小女郎峠」木村毅の「乃木將軍の秘話」と並べて中村、加藤を揃へ一脈淸新の氣を吹込む。この內容、附錄に特價八十錢の廉價の新年號に雜誌界の白眉として早くも再版の盛況をみてゐることも蓋し當然であらう(東京牛込矢來、新潮社發行、日の出新年號三大附錄つき特價八十錢)(S・A生)

家庭

迎春の準備に 家の手入れは如何?

室の氣分は壁の色一つで怎うにでも變る

お正月も近づいて參りますが、さつぱりと裝ひ調つたお家で春を迎へることは一しほ新鮮さを感じます、お家のお掃除、裝ひについて申しませう。

天井 ストーブの煙で煤け埃で黒くなつてゐませう、長柄のハタキ又は從來通り竿の先に笹をつけたもので輕く拂ひ取ります。漆喰の天井でありますなら胡粉を水に解いて塗つて白くします。紙張天井の場合は胡粉で塗るのもよろしいが、一層無地の紙で張替へるのもよいでせう。

胡粉 塗りも自分でやるのがいやでしたら、ペンキ屋にたのめば一坪五十錢位でやつてくれます。漆喰壁なれば埃を取り汚れてゐる處があれば水性のペンキを塗ればよろしい。このペンキは指や着物につくことなく、素人にもらくに取扱へるものです一回塗つたまゝではむらが出來ますから、その上をもう一回塗ると美しくなります。壁紙の場合はあまり汚れてゐるならば張替へるよりほかありません室の氣分は壁の色一つでどんなにでも變へることの出來るものです。今まで稿物を張つてゐたのでしたら、柄物無地であつたら稿物と云ふやうに變へて行くとよろしい、色はカーテン、敷物、その他の調度品に調和する色を使用します。素人では一寸むづかしいでせうから經師屋にやらすべきでせうが、壁の坪數と色を見計つて自分で求めそれを職人に渡すのが安あがりであり無難です。

敷物 は先づ絨毯なれば天氣のよい時外に出して裏側から日光にあてます。そしてよく乾いたとき等に掛けたまま裏側から棒で充分に叩きます。すると敷物の中から塵芥が出て、落ちるべきものは落ちます。小さな物は表面についてゐますから腰の強い箒で拂ひ落します、かうすると毛が寢て硬くなつてゐたものが柔かくなり、毛が立つてフワくとした氣持のよいものになります。表面にシミの付いてある場所はブラッシュに揮發油をつけてとります。子供のある家に菓子などを踏みつけてゐるものであるが、此の場合は熱い湯の中へタオルをつけよく絞つてそれでむします、すると大抵は取れます。焼こがしなどのある場合は硬いブラッシュで、其處をよくこすり、焼孔の周圍を鋏でかりこみ目立たないやうに致します。

アルミニューム製品の 上手な買ひ方

アルミニューム製の鍋や釜は、材料が純粹のものは肌の色が、白色で光澤があり、叩いてみると澄んだ感じのよい音がいたします、持つて見て割に重いものには鉛やその他の混合物があるので黒味を帶びて肌が粗く光澤も惡うございます。近頃は廢物の材料で再製した物がありますが、これは光澤も色もよくありません。

お料理獻立

七運汁(五人前)

【材料】

大根　半本位
人蔘　一本
蓮根　三分の一
はんぺん　一つ
うどん　玉一つ
ぎんなん　一合
寒天　一本

煮出汁、みりん、醤油適量

材料はそれぞれ切つて用意し煮出汁の中へまづ大根、人蔘、蓮根を入れ軟らかになつたらみりん、醤油で味をとゝのへはんぺん、うどん、ぎんなんを入れ、水につけ、しぼつてちぎつた寒天を入れたお碗へつぐのです。

今日の話

△今日は皇太子殿下第三回の御誕辰でございます。

△神奈川縣湯本町の名刹早雲寺が北條氏綱によつて建立されましたのは大永元年の十二月二十三日です。

△幕末の國防急を告げ、寺々の釣鐘を鑄直して大砲をつくるべしとの官符が下りましたのが安政元年の同じ日であります。

△イギリスの紡績機械發明家リチヤード・アークライトは西暦一七三二年の十二月二十三日生れであります。

溫室咲の草花

クリスマスを飾るベゴニヤ　鉢作りを長く生々と

▽花の性質を考へて—

一口に溫室の花といつても、比較的高溫を必要とするもの、四五十度位でよいもの、日光の直射光線を必要とするもの、朝夕の弱い光線には當てゝも日中の強い光線を忌むものなど色々ありますが、何れにしても人工的の溫度の中で育つた花ですから寒い荒風に當てたり、晝間はスチームなどの加溫設備で相當高溫な部屋でも夜分急に寒くなるやうな晝夜溫度の激變する所に置く事は避けねばならぬ

▽ベゴニヤは高溫を—

クリスマスを飾る花形ベゴニヤ、グロワードローレインなどは加溫設備のない一般の日本家屋では、寒い地方ですとちよつとお守が困難で、強ひていへば、晝間はなるべく暖いお部屋に、夜分に相當余裕のある木箱の中に入れて點火した十燭乃至十六燭程度の電球で加溫して面倒を見ます、日光の直射や乾燥を忌みますから、強烈な日光を避け、火鉢や石炭ストーブなどの直ぐそばに置かぬ事、毎朝細い霧を葉と花に掛けることです、ポインセチヤ(猩々木)も相當高溫を要しますが、日光を好む上にほかには面倒はありません、たゞ荒風は禁物です

▽低溫で育つた花は—

シクラメン、プリムラ(櫻草)各種、シネラリヤ、ゼラニユムに前述の洋蘭二種は、何れも強い日中の光線を好みません、だが朝まの薄い日に當てる事は必要で、暖かい所にばかり置くと花色も元氣が衰へます、溫度は夜分の最低が華氏四十度內外までは大丈夫ですから、暖かい火の氣のあるお部屋なら大抵安全で、晝間は部屋の中の明るい所に持ち出して、葉や花に細かい霧を掛け添水に注意すると、二三ケ月もその上も次々に芽を出して咲き通します。但しシネラリヤは、あの廣い軟かい葉が、極寒中は傷み易いので加溫設備をし、御家庭では少し暖かになつてからの方が安全と思ひます

▽冬の球根の花—

霜雪の中を物ともせぬチユリップ、ヒヤシンス、クロカスなどは元來寒さ強い花だけに、咲いたものは早く低溫の室に移すのが例で、強健なものですから、花や葉に直接寒風さへ當てねば、普通の部屋に置いても大抵大丈夫で咲かせるまでは日光を充分要しますが、咲いたものはなるべく低溫の室に置き、時折日光に當てゝ葉に灑水でもすれば澤山です、但しクロカスは日光に直射すると花が元氣に開き、日蔭では開きません、ごく大體ですが、要するに日光の直射を忌む花を終日々にあてたり、夜中寒い廊下に置き忘れる等が失敗の原因です、

麻疹に就いて(下)

太田小兒科醫院　太田友安

〔治療法〕

爾來、麻疹の治療法とし特殊の治療法はありませんが昔から「麻疹は冷さない」と言ふことが一般に謂はれて居ります。この冷さないと言ふことはつまり內攻を妨ぐわけで、從つて熱が高くとも、無暗に氷で冷さない樣に致します、又麻疹は殆ど全身各臟器を侵すものでありますから

病後の衰弱 は意外に甚しく之が爲め諸種の合併症を起すものであります、本病に於いては要するに保溫と言ふ事及び安靜と云ふ點が治療の主なる事で、其他榮養の事に就いても一般に食慾不振を來す故にこれは發疹期ばかりでなく恢復期にも及ぶのでありますから牛流動食を與へ、濃厚榮養食餌を用ひ場合によつては滋養洗腸をも試みます。又水分供給も是非必要で、水分の缺乏は他の疾患に對する抵抗力を弱める不利があります。

〔豫防血清注射〕

麻疹の豫防が完全に出來るならば、非常に幸福な事であり、たとへ永久にあらずとも、一年でも二年でも延ばし得るならば幸であるが、近來その豫防法として、「デグヴヰツク」氏恢復期

血清注射法 と云ふのが行はれて居ります。これは麻疹患者の恢復期の血液を採り、血清を分離して、豫防しようと思ふ者に注射するのであります患者の解熱後七日乃至九日に採血すると豫防の効果が多く然し十四日以後の液には免疫物質が減少するといはれます。また成人の血清中にも免疫物質の幾分かは殘存してをります。この恢復期血清を注射して完全に豫防の目的を達し得るや否やは、(一)その血清の含む免疫物質の量、(二)注射の時期の二つによつて左右されます。解熱後第七日乃至第九日の血清は少量で

豫防の目的 を達し、成人の血清では大量を必要とします。注射の時期は病原體を受けてから第六日以內でなければ効果がなく、既に潛伏期の第八日となれば、餘ほど大量の血清を用ひなければ目的を達せられません。注射の量は例へば三、四歳の幼兒には、潛伏期第五日までは三乃至四立方センチメートル、第五日乃至第六日では倍量を必要とし年長のものには倍量を用ゐます斯くして與へたる免疫力は月餘持續して効力があります。然し

注射の時期 が適當であつても血清量が不足の時には、豫防の目的を達し得ず發病しますが、發病して輕微で濟むといふ特典があります。この恢復期血清は事實上得られぬ場合が多いのですが、その時には母親の血清を二〇乃至三〇立方センチメートルを注射しますと、潛伏期第五日以前なれば五〇%は豫防することが出來、若くは病の經過を輕くすることが出來ます

結核性體質

この豫防注射の實際の應用は、極めて虛弱なもの、乳兒などで何うしても目下の所麻疹から免れしめたいといふ場合に用ひて有効なものであります、實際の應用としては寧ろ狹い範圍のものですが、輓近こんな研究も進んで豫防法もあるといふことを附記しておきます。殊に左の疾患の場合には遲滯なく之を實施して麻疹の危害より免るべきであります

一、肺炎に罹患中の小兒

二、生來の虛弱兒(殊に年少なるもの)、早産兒、肥滿せるも組織柔軟なる乳幼兒(「パステーム」の兒)、著明なる佝僂病兒等何れも肺炎を起し易きもの

三、百日咳罹患中の小兒、之も肺炎を起すからでありますが、殊に乳幼兒程危險で突然高熱と共に痙攣起り、死ぬ前になつて僅に發疹して麻疹と知れる例などよく見る處である。

四、結核に罹患せる小兒が、麻疹により結核の增惡を來し、腦膜炎で斃れることのあるのは人の知る所であるが、「デー」氏によれば、結核症狀の現はれ居る患兒に於て血清注射により輕症麻疹を經過せしめたる患兒にも三例中一例は結核症狀の增惡を見たと言ひますから餘程注意しなければならないと思ひます。

五、榮養障碍にて衰弱せる小兒、其の他諸種の疾患のための衰弱未だ恢復せぬ場合等であります。

戴冠式失態集

シンプソン夫人問題の發展で來年五月十二日に豫定せられてゐたエドワード八世は戴冠式も實施せられることなく退位せられ、新帝の(((()))) この豫定の日時に取行((((戴冠式が))))はせられることゝなつたが、この式典が何等の失策もなしにすらすらと行くかどうかは極めて疑問である、といふのはこの式典は古來の慣例に從ふ極めて繁雜なものであるから、歷史上にも頻々と大小の失策が記錄されてゐる今その一、二を拾つてみれば

ヘンリー一世—戴冠式を司るカンタベリー大僧正に嫉妬心を抱くソールズベリー僧正が横合から飛出して來てカンタベリー大僧正の手から((((冠を奪ひ)))) 自分で王樣の頭へ冠を載せてしまつた、カンタベリー大僧上カンカンに怒つてソールズベリー僧正の載せた冠を手ではらひ落してもう一度載せ直したがはらひ落した際、王樣の頭をいやといふほどなぐつてしまつた

エリザベス女王—戴冠式の際の灌油が濟んで控室へ引上げられたから「あの油は臭くて弱る」と仰せられた

チヤールス一世—王笏の上の鳩が缺け落ちた後にクロムウエル一味により殺逆せられるにいたる前兆だと歷史家はいふ

ゼームス二世—王冠が頭に合せてなかつたゝめ鼻の上までずり落ちる醜態

アン女王—非常に肥つてしかも痛風を病んでをられたので歩くことが出來ず椅子に乘つて擔がれた

チヨーヂ二世—戴冠式中退屈せられて一貴族夫人にウインクを使はれた

チヨーヂ四世—肥えてをられた上當日は非常に蒸し暑かつたので、後から後からへンケチで額の((((汗を拭か)))) れた上一々カンタベリー大僧正に手渡しされた、しかも控室に入られると式服を全部ぬいで涼まれなかなか着直されなかつた

ヴイクトリア女王—肥つてをられたので大僧正が指輪をおはめ申し上げたのが餘程痛かつたとみえ、式後一時間もそれを拔くのに苦しんでをられた

エドワード七世—大僧正の手が震へ危く冠を御頭の上へ落さうとしたのを手で御支へになつた

ラヂオ　けふの番組

M・T・C・Y(新京放送局)　廿三日(水曜日)

朝

六、五〇　ラヂオ體操(東京)
七、一〇　氣象通報　入港船のお知らせ(大連)
七、一五　初等滿洲語講座(大連)　講師　秩父固太郎
七、四〇　朝の音樂(大連)
八、三〇　經濟市況(東京)
九、四〇　經濟市況(大連・新京)
一〇、〇〇　家庭講座(大連)　御勅題田家の雪に因む盛花瓶華に就て(三)　小原流　右田汀雲
一〇、二〇　料理獻立(哈爾濱)
一〇、三〇　家庭メモ(大連)
一〇、三五　經濟市況(大連)
一〇、四〇　經濟市況(東京)
一〇、五九　時報(東京)
一一、四〇　ニュース(東京・新京)

晝

〇、〇一　經濟市況(大連・新京)
〇、二〇　晝の演藝(奉天)

思ひ出の流行歌(その二)　唄　內井芳子　同　渡部一喜　放送管絃樂
一、流浪の旅　二、籠の鳥　三、道頓堀行進曲　四、出船　五、アラビヤの歌　六、君戀し　七、東京行進曲　八、ザッツOK　九、影を慕ひて　十、酒は淚か溜息か　十一、マノンレスコーの歌　十二、紅屋の娘

二、〇〇　經濟市況(大連・新京)
二、五〇　經濟市況(東京)
三、〇〇　ニュース(東京・新京)
三、三〇　經濟市況(大連・新京)
四、二〇　ニュース(鮮語)　講演(鮮語)　回顧康德三年　滿蒙日報社　崔碧波
五、〇〇　子供の新聞(東京)
五、二〇　コドモの時間　關屋五十二
五、二五　趣味講座(東京)　郷土玩具の話　有坂與太郎
五、五五　カレントトピックス(東京)
六、〇〇　ニュース(東京)　ニュース・告知事項・番組豫告(新京)

夜

六、三〇　子供の夕(東京)　皇太子樣お生れになつた
(一)奉祝童謠　北原白秋謹詞　中山晉平謹曲
(二)お話　日本萬歳　矢野雄彥
(三)獨唱
一、(イ)可愛い皇子樣　西條八十謹詞　中山晉平謹曲　中山梶子
二、(イ)皇太子さま　久保田宵二謹詞　佐々木俊一謹曲　大川澄子外
三、(イ)皇子樣生れまし給ひぬ　野口雨情謹詞　平岡均行謹曲　吉田玲子外
(四)お箏　(イ)朝みどり(明治天皇御製)　(ロ)鶴の舞　米川親敏外
(五)お伽歌劇　足柄山の金太郎　町田櫻園作並編　AKコドモ會
(六)奉祝童謠　皇太子樣お生れになつた　北原白秋謹詞　中山晉平謹曲　アタゴコドモ會
七、五〇　管絃樂(東京)　喜劇序曲　ケラー・ベラ作曲　日本放送交響樂團　指揮　尾原勝吉
八、三〇　時報・ニュース(東京)
九、〇〇　ニュース・告知事項・氣象通報・番組豫告(新京)　マンドリンとギター(大連)　大連マンドリン交響樂團
一、流行歌謠四集　(イ)タンゴ　(ロ)笛は冴ゆれど　(ハ)旅寢の夢　(ニ)朝顏の唄
二、マンドリン五重奏　落葉の精
三、マンドリン四重奏　村の祭典
九、三〇　ニュース再放送
一〇、〇〇　北滿の時間(哈爾濱)

管絃樂

後七・五〇　日本放送交響樂團　指揮　尾原勝吉

一、喜劇序曲　ケラー・ベラ作曲
十九世紀の中頃から終りにかけて、輕い音樂の作曲家として有名であつたハンガリア人ケラー・ベラの傑作。尖快な明るい感じのする曲である。

二、小さき舞踊組曲　グレトリー作曲
(イ)崇嚴な舞曲　(ロ)輕快な舞曲　(ハ)カヴオット　(ニ)トルコの行進曲
グレトリーは十八世紀末のフランス歌劇作家で、これは歌劇の中の舞曲をアメリカのヴアイオリン奏者であり、指揮者であるサム・フランコが新らしく編曲したものである四編何れもその標題が示す通りで、古雅な匂ひが漂つてゐる愛すべき小品集である。

三、スラヴ行進曲　チヤイコフスキー作曲
露土戰爭より十年の後、一八八七年にスラヴ民族を謳歌して作つたもので、スラヴの勝利を絶叫しスラヴの精神を稱へた不滅の行進曲である。

獨唱とピアノ

三少女が豊かな天分を見せ—秋山もみぢさんが景物に歌ふ

子供の時間

今晩の子供の時間は昭和七年東京音樂學校出身の細田透先生の愛弟子さん方のお歌やピアノでそれぞゝ豊かな天分に惠まれ將來を約束された方々です

岩田聖子(八才)さんは今年やつと櫻木小學校の一年生になつたばかりでピアノを始めてから僅かに六ケ月ですが、あつぱれ天才少女ピアニストです。

瀬田ひろ子(一一才)さんは櫻木小學校四年生でピアノと唱歌を始めて僅か一年ですが、その進歩も驚くばかりで今晩は特にお歌を願ひます。

谷澤みつ子(一三才)さんは八島小學校六年生お稽古始めて三年になりますが熱心な努力を續けて居りますが今晩は特に小曲を三つ演奏します

秋山もみぢ(一九才)さんは今年東京の女學校を卒業されたお姉さまで先般の本社主催新人募集の際最優秀の成績で入選されたソプラノ歌手今晩は特に童謠を三曲歌ひます

一、ピアノ獨奏　岩田聖子
カッコー……ポップ作品
カッコー鳥の描寫的ピアノ曲で靜かな森や小川の流れに鳴くカッコー鳥の樂しい氣持ちを表現したものです

二、獨唱(童謠)　瀬田ひろ子
一、爐ばた(山下勝歌　佐々木すぐる曲)
かさり　かさり　裏の庭に
りすが出たのか　風吹くか
さらり　さらり　せどの籔に
雪が降るのか　風吹くか
三毛と婆さん　いろりばた
こくりこくりと舟をこぐ
二、おるすゐばん……(深見正策歌　佐々木すぐる曲)
テックリビックリヒョック
リコ　柱時計がボーン〱
テックリビックリヒョック
リコ　なんどぢやおねずが
チユー〱〱
テックリビックリヒョック
リコ　おるすゐばんはこわござる
三、新兵さんの駈足……本居長世作歌曲
向ふの方から新兵さんの駈足
ザック〱〱　ザック
大きなドタ靴引づつて駈足
ザック〱〱　ザック
〱〱
眞赤な顏していききつて駈足
ひぢ鐵砲こわさに元氣で駈足
ザック〱〱　ザック
〱〱
ザック〱〱チテトタ
戰鬪の喇叭は風船玉の様に
頬つぺたふくらましてチテトタ

三、ピアノ獨奏　谷澤みつ子
一、機織の歌……エルマンリッヒ作品
ドイツの古風な機織り風景を樂しく表現した曲です。
二、駒鳥……ムーア作品
駒鳥の樂しい相な氣持をポルカ(舞踏曲)風に表現した小曲です。
三、樂しげなる農夫……シューマン作曲
有名なシューマンの作品で人々の耳に親しい旋律をもつた小曲で農夫の苦勞の中にも樂しみ多い喜びを現した曲です。

四、獨唱(童謠)　秋山もみぢ
一、スケーティング……葛原しげる歌　小松耕輔曲
風を切つて矢のごと　滑りゆく早さや
遠くまで一息に　滑りゆく早さや
逆に輪に滑りて　たのしスケーテイングたのしや
ラ、ラ、ラ、ラ、ララ
樂しいスケーテイング　ララ、ラ
二、鳥籠……(百田宗治歌　中山晉平曲)
春の日暮れた鳥籠を
お家へ入れてやりませう
すもゝ林の木の枝に
白金色の月がさす
歌ひつかれたホ、ジロも
暮れりやお家が戀しかろ
三、この道……(北原白秋歌　山田耕作曲)
この道はいつか來た道　あゝさうだよ
あかしやの花が咲いてる
あの丘はいつか見た丘　あゝさうだよ
ほら白い時計臺だよ
あの雲はいつか見た雲　あゝさうだよ
山査子の枝も垂れてる

學藝

騎士の幻影 (一)

尾崎士郎

旅の宿には秋の立つのが早い、うすじめりのする舗道には、街路樹のわくら葉が風に煽られてゐる、落ちるわくら葉を窓にもたれて眺めながらウラは上海へ來てから知合つた若い畫家のことを考へてゐる

ウラは商用でやつてきた兄につれられて一月前からこの宿に泊つてゐるのであるが、しかし、兄は朝起きるとすぐに外出しなければならない用事を持つてゐるので彼女は夕方までの佗しい時間をひとりで待つてゐなければならないのだ、三階の街路に向つてひらかれた窓のそとには高い建築の屋根が波をうつてゐる。窓から正面に當る空の一部を劃つて古めかしいかたちをした教會堂の圓塔が高くそびえてゐるのだ。秋に入つて空の色は美しい紺碧に澄みはじめた。海面のやうにひろがつてゐる空の上を白いちぎれ雲がゆるやかにながれてゆく。ウラの眼は雲の行方を追ひながら遠い日本のことを考へるのである。今年の春であつた、女學校を卒業したばかりの彼女はちりぢりに別れ去つた友人の顔をおもひだすのである小さい頃に父と母とを失つてしまつたウラにとつて親しい級友ほどなつかしいものはなかつた、彼女は、だから毎日のやうに手紙を書いた。そういふときほど異郷の空の下にわびしく暮してゐる自分の姿が、昔古い物語で讀んだ高い塔の中に幽閉された遠い國の王女のやうに思はれることはない。眼の前にそびえてゐる教會堂の圓塔は彼女の空想の中にまでもいかめしいかたちをあらはしてきたのである。しかし彼女は今日本のことを考へてゐるのではない、級友の顔も、それから東京郊外のなだらかな丘にかこまれた平原の一角の雜木林をうしろにして、ちようど積木細工の家のやうにぽつんと建つてゐる小さい西洋館のことも今は彼女の頭からうすれてゐる。その小さな西洋館には今年五十二になるばあやと、ウラの愛犬である白いフオックステリヤのリップスとが彼女のかへるのを待つてゐるのであるが

若い洋畫家の中里信吉の顔がウラの胸の中にたゝみこまれてから十日になる。痩せてはゐるが、しかし陽にやけた顔は生々とした彈力にあふれてゐる、—それから廣い額と美しい瞳。—最初彼に會つたのは、兄が仕事の暇をつくつて彼女を蘇州へつれていつてくれたときであつた、月の冴えた夜であつた。葉ざくらのかげに古い城壁がうすくうかんでゐる。同じ宿に偶然泊まりあはせた若い畫家とウラの兄とはすぐ親しくなり、夕飯をたべた後で三人は二階のバルコンへ出て語りあつた。「ほら、あそこに—」と、若い畫家がウラの肩をたゝきながら、遠い空の果てをゆびさした。「城壁が見へるでせう、あれが有名な姑蘇の臺です、夫差といふ王樣が西施といふ美人といつしよに長夜の宴を張つたといふ」

男性的なひゞきにみちたその聲がウラの頭にしみわたつた。ウラは男のうごくのを見つめながら彫像のやうにすつきりと整つた横顔の線を美しいと思つた、すると中里信吉はウラの眼をちらつと見かへしてから愉快さうにしやべりつゞけるのであつた。「どうです明日の朝は早く起きて天平山まで出かけやうぢやないですか、—ウラさんあたは驢馬に乘つたことがありますか?」

「驢馬?」

彼女は正面から自分の顔にそゝがれてゐる中里の視線を感じて、ぼうつと顔を赧らめながら、しかし默つて頭を横に振つた、妙に息苦しいきもちがして胸の底が締めつけられるやうだつた。

「ぢやあ、仕方がないな、—寒山寺までゆられてゆかうかそれとも蘇州河を畫舫で下つてもいゝんだが—」

ウラはその聲をうつとりとして聞いてゐた。中里が何を言つてゐるのだかまるでわからなかつた。唯、聲の調子だけがしつとりと胸にながれてくる、彼女は欄干にもたれて空にうかんでゐる星の數を數へてゐた。ときどき冗談口をたゝき合ひながら、彼女の兄と語り合つてゐる中里の聲をいや聲のひゞきだけにウラはぢつと耳をすましてゐた。

羽子板の由來

刀根哲夫

春風に振袖を飜して羽根をつく女性の姿は毎年見る正月の景物でも特に美しく古雅なものであるが、この追羽根は遊戯としても、スポーツとしても非常によいもので、今迄戸外運動を持たなかつた婦女子には特にふさわしいものであらう、この追羽根は日本獨特のもので隨分昔から行はれてゐたらしいが、明確な記錄はない。「下學集」の羽子板の記錄に「正月之を用ふ」とあるから既に

足利時代

に用ひられ然も正月の行事とされてゐたことが解る、四季を通じて行はれても宜い筈の追羽根が特に正月の行事とされてゐたのは、古くは胡鬼板と呼ばれてゐたことから考へても、年の初めに之を翫ぶのは追難の意味が含まれてゐたらしい、羽子板の製作も初期には極めて質素なものであつて、その形も狹く短い桐或ひは杉の板に朱、黄、黒などの顔料を用ひて粗雜な畫を描いた程度で、徳川期の貞享、元祿頃から次第に美術的な工藝品になつて金銀の箔置で

頗る精巧

な密畫を描いた、「內裏羽子板」といふものなどが京都あたりで作られる樣になつたその後運動具といふ本質が次第に美術工藝品に代り裝飾品として室內へ懸けて置くために數寄をこらした羽子板が現れて來たが、これは主として遊女の間にもてはやされてゐたらしい。羽子板も製作される地方に依つて形や畫面にも特異な郷土色が出てゐる。現今行はれてゐるやうな押繪物は文化頃から創められて明治以後益々巧緻な細工となつて來たらしい。江戸時代の羽子板には郷土色と共に

古典的な

色彩、繪模樣が殘つてゐるが、現在では殆どそれは見られず、桐板をセルロイドで包んで映畫俳優の寫眞を印刷したものなどまで現われて、古典味のない輕薄なものになつてゐるのは殘念なことである

サタンの微笑

松元衛門

ホスピタルの廊下の曲り角には うつすらつとした 感覺的光線が 充ちてゐた—
ぞろぞろと 頽廢的な足どりで さながら 一世紀前の思ひ出を 顔に 浮べた樣な 入院患者が 光線の中を 隊を組んで 横切つて行つた
白衣の脊の底い看護婦は 薔薇の花瓣の樣に微笑んで 彼等を指揮してゐた—
寺院の信者の樣に 高くへだてゝ 區切られた天井には…
不可解な 惡魔の微笑が漂つてゐた

婦人倶樂部（新年號）

◇本誌六五六頁、四大附錄

婦人俱樂部新年號は量から見て既に空前である。これを手に取つて見ると、口繪に華麗な色刷をもつて竹の園生の御榮えを表はし續いて、當代一流の舞踊家を配した艶麗優美な寫眞、黑潮躍る南紀地方紹介のグラビヤ版と、すべてが本格的に編輯されてゐる。

◇記事には、座談會だけでも四ツ（田中光顯翁棚橋絢子刀自思出話對談會、女性相談擔當者座談會、獨逸から日本へお嫁に來た婦人座談會、男性對女性自慢くらべ漫談大試合、肥る法、痩せる法婦人ばかりの經驗發表座談會）といふ盛觀……。

◇中間もののよいものを拾つて行くと「伊豆南端合掌村訪問記」「時の問題日獨協定と西班牙の內亂」「霧立つのぼる物語」其他どれにも惹付けられる魅力を具へてゐる。

◇創作にも、斷然新連載に氣を吐いてゐる—新家庭曆—菊池寛「お辰街道」子母澤寛「愛染かつら」川口松太郎、「街の朝霧」三上於菟吉の諸作加ふるに片岡鐵兵、細田民樹、山本周五郎三君の讀切ものが來るから堪能せぬわけにはゆかない。

◇附錄へ廻つて第一「和服裁縫大全集」第二「諸流四季の活花と茶の湯」第三「子供物一切の毛糸編物」第四、「科學的運命判斷」の四種よくもがう、婦人の必要さと興味さに投じたものだと思ふ。內容の豐富さにもつて來てやうやく調整よろしきを得て來た編輯技術は、この雜誌を押しも押されもせぬ婦人雜誌界のナンバーワンとしたやうである。新年號特價八十錢、

親鸞は果して實在の人物か

◇親鸞は果して實在の人物であらうか?—隨分突飛な問題のやうではあるが、それが當然として歷史家の間に取上げられたことがある。

◇淨土宗の法然にしろ、曹洞宗の道元にしろ、日蓮宗の日蓮にしろ曾て何人にも、その史的存在を問題視されたことはないのになぜに獨り親鸞のみが、その史的存在に疑問符をつけられねばならぬのだらうか?。

◇江部鴨村氏は、かう前置してさてあらゆる文獻を漁つて執筆した大論文『親鸞聖人』の一篇を雜誌現代新年號に發表してゐるがこれには、若き日の親鸞、求道の親鸞、流人の親鸞等々、聖人の姿の髣髴たるものがあり、洵に盛徹に溢れる一篇である。

◇讀んで面白い物語といふばかりでなくその所論に就て各方面の非常なセンセーションを捲起してゐる。—

官場現形記 (234)

李寶嘉作　大內隆雄譯

—第十九回 正途を重んじて官海科名を冏び 理學を講じて官場節儉を崇ぶ その一—

さて拉達は彈劾案の原稿を取り出し、過道台は受取つて一見した。見ると撫院から始まつて雜官、幕友、士紳、門丁に至るまで合せて二十數欵人數は二百人以上に上つてゐる、とても一時には覺えられない、其まゝ手に持つて別れを告げ、明日か明後日更に返事をするからと言つて置いた門を出て轎に乘ると、公館には歸らず直く巡撫の役所に廻り、劉中丞に會つて一切を報告し、原稿を呈上した。

劉中丞も細閲する餘裕はなく、自分に關係のある所だけを仔細に眼を通した。あとはざつと大略を見て、卓上に置いて言つた。

「結局向ふはどんな考へでゐるのかね?」

そこで過道台は勅使の腹は二百萬欲しがつてゐるのだといふことを話した。劉中丞は

「そんなら俺は京に行つて訴へて出たいと思ふ。そんな額を要求するなんて、浙江の米櫃を一人で浚ひ上げるやうなものぢやないか、あとには何にも殘りはしない。「向ふが金を欲しいといふ、それにはこつちの對策もあるんだ、暫らく放つて置こう、構はんがいゝ、まあ當面に要る二萬の費用、これは理由もあることだ明日君は善後局へ行つて受取りたまへ」

と言つて彼を送り出した。

××

過道台はぼんやりしたまゝ家に歸つた。幸ひ二萬の證文を書いたのは中丞が承知してくれた、そこで自分の關係した範圍では責任は果したのだあとはなるやうになるがいゝまたその時だと考へた。

××

ところが、三日過ぎたが拉達は何の返事にも接しないので、自分から過道台を訪ねて來たのだつた。過道台は仕方なく有りの儘を話した。拉達はそれを聞いて、頭上に雷でも落ちて來たやうな感じであつた。暫らくして、元氣なく歸つて行つた。

宿所に歸つて見ると、正勅使が眼をひからすやうにして返事を待つてゐたのである。拉達はこゝで實際通り報告する。正勅使は怒つてしまつてもう金は一文も要らぬ、直ぐ公文を巡撫に送つて訊問を開始するからと言ひ出した。

この噂がひとたび傳はるや全省の役人はふるへ上つた。司道は巡撫の所に相談に來るそれに劉中丞は言つたのである。

「二十數項の彈劾だらうと、或ひはもつとそれ以上だらうと、もはや向ふから金額を言つて金が欲しい事を明らかにして來たのだ、事は何とか片付くさ。查辦といふ事では無論自分は一省の主でありすべて關係してゐる、諸君にしても同樣だ。まあこの件は急ぐには及ばん、金で何とかなるのだ、がもつと交涉して負けさせなくてはいかん、今向ふが言ひ出してゐる二百萬をそのまゝ承諾した日には、將來また彈劾されて今度は二千萬出せと言つて來るかも知れんそんな相手には成れんからねまあ暫らく放つて置こう、それでぐづぐづ言ふなら、自分はあの連中と一緒に上京して爭つてやる!」

無論これははじめだけ構ひ付けないやうな振りをして、向ふが折れて來るのを待ち、自分の持出しを少額で濟ませやうといふのである(つゞく)

新京中央卸賣市場設立案具體化す

滿鐵卸賣市場會社も買收し

資本金は九十萬圓

新京中央卸賣市場設立に關しては過般公布された滿洲國中央卸賣市場法に基づき市公署に於て現地滿鐵側と緊密なる連絡を取るとゝもに組織に就き協議を凝らしつゝあつたが過日の滿鐵新京事務局との折衝及び哈爾濱、吉林各中央卸賣市場の設立をみた結果、周圍の情況に併行して急速に具體化するに至つた、之が爲市公署宇山財務處長は滿鐵本社との折衝要務を帶びて急據大連に赴きこのほど歸京、情勢報告をなし市公署側の腹案を携へて再度二十二日夜大連に赴いた、然して設立組織の時期及び方法、出資形式等に就いては未だ嚴秘に附されてゐるが、中央卸賣市場の設立と同時に現在の滿鐵卸賣市場會社（寬城子に在り資本金五萬圓）は大正六年八月創立以來の歷史を閉ぢて合併される運命に在り吉野町小賣市場も新市場に包含され且法例の定むるところに依り魚類、肉類、鳥類、野菜、王子果實の六種は絕對的に該市場を經過し場外取引け許可されないため城內方面に散在する卸賣商の參加は必然的で大掛りのものであるが、設立計畫の中心問題たる滿鐵卸賣市場會社買收に就いて仄聞するに該會社が一ヶ年五萬圓の純益を擧げ五萬圓の積立金を有し、資本金五萬圓の小會社として簡單に買收をなし得ざる狀況より相當迂餘曲折を豫想されてゐる、當初の資本計畫は九十萬圓の豫定であつたが豫算關係より多少の減少を見るべく宇山處長の歸京で設立案今後の見透しが成るわけである

國際銀公司主腦者全部東京で檢擧

近く身柄引取り新京で取調べ

國際銀公司については引き續き新京署高等係りで調査中であるが副總裁の椅子に幻惑され田地田畠山林をすつかり投じた王寅恭氏は今更己が不用意を悔むと共に新京署に告訴を提出したがこれを受理した新京署ではこれが取調べの上に警視廳と打合せの必要あり一件書類を携へて岡田高等主任塔尾警部補は廿二日午前七時發ヒカリで急遽上京、一方警視廳では關東局よりの連絡により被害者王寅恭氏より告訴された銀公司主腦者東京市麴町區丸の內日本郵船ビル內副總裁德光好文、東京市品川區南品川三丁目八十番地、相談役、後藤幸正、神奈川縣三浦町浦賀町大津、理事、齋藤留三、東京市麻布區笄町一七五幹事、楠原百十郎住所不定顧問、黑龍王、在京中の劉萬の諸氏を二十二日朝檢擧したなほ本問題の中心人物たる平田爲次氏は所在不明であつたが程なくこれも檢擧せる旨新京署に通知があつた。新京署ではこれ等の身柄を引取り新京に於て取調べを行ふものと見られる

國際銀公司事件で岡田警部東上

意外に複雜な事情判明

日滿米三國を股にかけて文字通りの國際銀公司に對し曖昧極まる詐欺事件摘發の烽火を擧げた新京署高等主任岡田警部は取調につれ背後に意外な複雜せる事情あること判明しこれが究明の爲め警視廳と協議の必要あり二十二日午前七時發ひかりで急遽上京した

皇太子殿下けふ第三回の御誕辰

市內小學校では講話

けふ二十三日、皇太子殿下御降誕遊ばされて滿三年、在京各小學校ではけふのよき日を記念するためそれ〴〵朝禮の時間に校長先生から皇太子殿下に關する講話がある

溫い喜捨集つた同情金

無名氏の二百圓等に係員感激

整理終へ分配方協議

〝寒い年末溫い同情〟の標語を揭げて十五日から日滿一齊に開始した國都の歲末同情週間は二十一日で締切り附屬地側は二十二日早朝から滿鐵事務局社會係を本部に市內警察官派出所其他溫い喜捨を仰いだ同情箱五十個を集め係員總動員で整理に當つたが中には封筒の中に一錢銅貨を封入し長々と文句を書いたものがあるかと思へば手の切れるやうな朝鮮銀行の百圓券を二枚封入してゐる奇篤な無名氏があり係員を感激させたり苦笑させたりした、この同情金は二十三日中に全部整理を終り廿四日午前十時から分配委員會を開き分配方法につき種々協議の上それ〴〵配給される筈である（寫眞は同情袋を整理する係員）

歲末同情金寄附

廿一日第一鄰保委員沙爾金氏は區內の窮民生活の實狀を述べつゝ本年度報酬金の全額を歲末同情週間義金に繰入使つて貰ひたいと奇篤な申出をした、同人は鄰保委員創設以來此の方面に對し熱心に努力され區內貧民より親の如く慕はれてゐる

尾去澤ダム再び決潰

【尾去澤國通】廿二日午前四時四十分頃秋田縣尾去澤鑛山尾去澤ダムが突如再び大決潰し同ダム下流一キロに防禦用に新築中の高さ三十四尺ならびに卅尺の二大ダムを押流し商店數戶を泥流に呑み附近一帶を泥海と化した、決潰と同時に非常サイレンを鳴らし直ちに花輪署、靑年團員總出動非常警戒に當つてゐるが、第一回決潰で難を免れた人夫四十名中重輕傷者約二十名を出し大混亂を呈してゐる

【尾去澤廿二日發國通】再度靑泥の襲來をうけた尾去澤町は地獄そのまゝの慘狀を呈してゐるが、廿二日正午までに判明せる死者は八名、行方不明八名、重輕傷者卅六名である、折角復舊工事の進んでゐた尾去澤町は又復泥海に完全に埋めつくされ、交通は杜絕した

子供を使つて金泰で萬引

吉林省懷德縣城內生れ新京大同廣場百十八號季郞氏（三十四）は廿一日午後六時頃劉桂（十一）と云ふ少年を使つて金泰洋行で靴下、手袋、ジャケツ、石鹼等十九點を萬引させてゐるところを店員横井重氏に發見され新京署員に逮捕されたが子供を使ふ新手の萬引で餘罪ある見込みで嚴重取調べ中である

旅館泣かせ

朝鮮忠淸北道金達永（廿四）は十一月九日午後八時ボストン鞄一個を携へ來京一錢も所持せず富士町二丁目大寶旅館に泊りいまに實家から送金があると言葉巧に館主を欺き酒を飮む菓子は食ふ支那料理を取り寄せる等豪奢な日月を過してゐたが二十一日に到り實家から金は送らんとの電報が來たので旅館主は靑くなつて百五十七圓二十五錢の支譯書を添へて新京署に訴へ出た

新京人の結婚適齡期

男廿八、女廿四才

神々の手帳に覗く粹な裁斷

慌しく暮れんとしてゐる師走の二十二日、その日も新京神社の儀式殿では三組の新郎、新婦の固き契が結ばれた、更に二十六日の

吉日 には四組の神前結婚申込み通知があるが大體今年のお目出度はこゝらあたりが閉幕でないかとみられてゐる、今年の新京神社の神前結婚は二百四十四件で前年の（百八十三件）の七割五分增加で靑年男女萬歲の一年であつた、そのうち十月が最も多く三十六組、十一月の三十組、十二月に入つてからも既に十九組それに二十六日に四組都合二十三組といつた順序になつてゐる、これら結婚適齡期？を調べてみると花婿にして二十四才二十五才の靑年は僅か十名足らずの少數で二十六才になつて急增して三十三名、二十七才三十名

最も 多いのは二十八才の四十四名二十九才が三十六名で次位を占めてゐる、これに對して花嫁の適齡は二十才のものが二十三名、二十一才が三十二名、二十二才が三十七名と殖へて二十三才三十九名、二十四才を越して二十五才になれば婚期をはづすと思はれてか二十四才のものが最も多く四十一名、二十五才になれば半減して二十一名になつてゐるなほ詳細に示せば次の通りである

△新郎年齡	人員	新婦年齡	人員
二二	二	一七	一
二三	三	一八	一
二四	六	一九	五
二五	一一	二〇	二三
二六	三三	二一	三二
二七	三〇	二二	三七
二八	四四	二三	三九
二九	三六	二四	四一
三〇	三一	二五	二一
三一	二一	二六	一七
三二	一三	二七	一五
三三	九	二八	九
三四	〇	二九	八

縣內警備の强化期し

首都警廳 管轄區域變更

明年一月より實施

首都警察廳管下市外各警察署の管轄區域は舊長春縣公安局のそれを踏襲してゐたが同廳ではかねてより地理、交通、治安、保甲關係其他の警察上の見地より、これが改善の要を認め關係各方面との意見をも徵し全般的に警察署及び分駐所の管轄區域の變更を企圖し既に分駐所の新設を要するもの四ケ所、位置の變更を要する五ケ所を豫定しいよ〳〵明年一月より實施の見込みのもとに準備を完了した、これによるときは縣下四千二百平方キロメートル、人口四十六萬人に對し警察署五、分駐所三十となり、市外治安確保に對する同廳の三ケ年計畫はこれによつて完成するとともに縣內警備と所期の目的通り間然するところのないものと期待されてゐる

軍犬協會支部來年の計畫決定

一戶一犬主義を愈よ徹底

滿洲軍用犬協會新京支部の幹事會は二十一日午後七時から日滿軍人會館に於て開催出席者加藤獸醫正、幹事金子嘉一（事業）宇戶修二郞（衞生）中尾成行（會計）西尾貞二（事業）山田春雄北岡啓（庶務）吉村爲春、評議員田島の諸氏にて、直ちに會議に入り近く開かれる支部長會議に提出する重大案件を決定ついで昭和十二年度支部豫算及び事業計劃につき審議左の如く決定午後九時半頃解散した

▲十二年度收支豫算＝收入六千百八十二圓これが內譯は▲正會員費一、八〇〇圓（現在會員約二百五十名を三百名に增加の豫定）▲訓練預託料一、五二〇圓（一日平均七頭分）▲一時預託料四六二圓（一日平均二頭分）▲醫療補助金六〇圓（種犬二頭に對する本部よりの補助金）▲諸手數料八〇圓（各種證明手數料）▲雜收入二六〇圓（各種行事に依る益金、預金利子、其他）▲助成金一、〇〇〇圓（本部よりの助成金）▲合計六、一八二圓

▲支出六千百八十二圓これが內譯は事務費三千七百五十三圓、訓育費二千四百二十九圓、事務費三千七百七十三圓

次に事業計畫は左の如く決定した

▼一月—（一）耐寒テスト（二）訓練の普及（三）年度豫算編成提出
▲二月—支部常任幹事會、未登錄犬の調査
▲三月—（一）十一年決算並に精算（二）支部通常總會（三）登錄犬審査執行（四）記念事業軍犬映畫
▲四月—（一）會員座談會（二）巡回訓練指導（三）飼育管理講習會（四）支部役員會議（五）診療指導（六）狂犬豫防注射（七）愛犬持寄會
▲五月—（一）訓練競技會（二）品評會（三）軍犬市中大行進
▲六月—出張訓練實演及講演野外訓練指導
▲七月—耐暑テスト
▲八月—特種訓練指導、應用訓練指導
▲九月—軍犬映畫會
▲十月—前半期決算精算、野外訓練指導
▲十一月—常任幹事會、冬期飼育並訓練指導
▲十二月—翌年度事業計劃、支部幹事會

石炭配達に中間搾取頻り

不正者はどし〳〵摘發處分

寒氣愈よ加はり石炭の需用全盛期にある近頃市內に配達される石炭の質或は量が非常に不確實で同一の注文に對しある時は多くある時は少く甲家にはA質のものを屆けて乙家にはB質を屆けると云ふ實例が頻々とあるが、賣る方には計量器があつても買ふ方には無いので中間に拔き取る不良運搬人もあり一般家庭として甚だ迷惑してゐるとの聲が高いが新京署でも公設計量器設置その他色々考究中であるがさしあたり店より註文主への運搬の途上に於て拔き打ち的に檢査し不正をどし〳〵摘發處分することになつた

首都警察管下署長會議

首都警察廳管下各警察署長會議は二十五日午前九時三十分から同廳會議室にて開催、金總監、連副總監の訓示あつて各科長の注意指示事項の提示並びに事務上の連絡に關し協議がなされる筈

五馬路のボヤ

二十二日午後二時五十分頃五馬路三杉櫻風呂場より出火風呂場を燒いて三時半鎭火したが原因損害等目下取調中

忌明寄附

三笠町故ゴールデス氏三十五日忌に當る二十二日その妻みきゴールデス氏から警察救濟會に廿五圓、貧民救濟基金に十圓の寄附を申し出た

新京署員にスケートの練習

新京警察署では猪苗代署長の發案で冬のスポーツスケートを奬勵し身體の重心を早く變へて結氷した道路で轉ばぬ樣にと署廳舍裏にリンクを作り署長自ら出場全署員に廿三日から一日一時間宛練習させることになつた

プレンソーダ

揚子江の守りから駐滿海軍部司令官の要職に就いた日比野海軍中將▼赴任列車のコンパートにトランクにしては變だし桶にしては妙ちきりんな直徑二尺位に長さ三尺位の皮製の丸箱を置いてゐるので▼あれは何です？と無遠慮に質問を發すると中將は無造作に、これか帽子箱だよ、あちら（上海）を立つ時買つて貰つたんだが君とても便利だよ▲帽子も入る、靴も入る、これだけあればなんでもはいるそれに値段が僅かに九圓とは安いもんぢやらう君達もよく動くのぢやらうから一つ造つて置きたまへ轉動の時はこれに限るよ

妖魔往來（一三六）

桃川燕二演（上映上演）　内山鉦太郎畫

お照においては夢中になつて茶の間に飛び戻つた、ところを佐次右衛門躍りかゝつて、

『馬鹿にしたな思ひしつたか』

後袈裟にズバリッ……

『ヒイッ』

悲鳴をあげて倒れる上へ乗掛つてブツリ止息をさした

『アハヽヽア光五郎といひお照と云ひ、我刀の錆になつた、此上の喜びはない』

刀は血振ひに及び鞘に納め、再び臺所へきて水をのみホツト一息暫く立つて心氣を鎮めてゐると表の方に二三人の足音、ドンドン

『お照今歸つたよ、あけてお呉れ』

ドン／＼／＼、佐次右衛門耳を澄すとそれはお照の聲に相違ない

ハテナと思ふから横手の高い窓をソーット少しばかり開いて覗いてみました、幾らソーッと開いてももう四つ半深更のこと、四邊はシンとしてゐるから外の者が氣がついた

『ヤア小戸が開いた、オイ／＼お照さん寝惚けちやいけない、そこをあけるのぢやない、表を開けるのだはなア』

といふのをみるとお照の叔父の家の人々だ、夜がふけたから二人の男がお照を送つてきたものと見えて弓張提灯をもつてをります

『サア／＼ご苦勞様でした、お照が起たやうでございますからもう宜しうございます、どうぞお戻りを願たう存じます』

と挨拶をするのは正しくお照

『折角來たのですから家の中に送り込んで歸ります、オヤお照どんはどうしたのだらう、まだあけないか、お照どんお照どん』

『變だなア、お照さん早くあけて上るがいゝ、寝惚けるのも大概にしておかなくちや』

と急ぐ佐次右衛門、お照は我手に掛けたに違ひないが、變だなあと中の間へ戻り角行燈の前の障子を上へ細目に上げ燈心を搔立てよく／＼死體をみると、是はお照ではなくお熊だつた、アッと仰天すると共に其角行燈を臺所へさげてきて男の死體を改めた、たしかに小野光五郎だと思つてゐたのが大違ひ侍の姿ではなく無頼者らしく、其顏は似てもにつかぬ瓜と茄子、サア愈々仰天して死體の前に佐次右衛門大胡座をくみ青息吐息……家ではこんな事をしてをりますから外では不審をうつ

『どうしたのだらうお照、早くあけておくれよ、お照／＼』

『こりやお照さん變ですぜ、横窓をあけたのはお照さんぢやないでせう、留守を見込んで泥棒がはいつたに違ひない』

『エッ泥棒……』

『幾らねぼけてゐても此位起したのだから大概な者は眼を覺す筈ましてお前さんチャンと起てゐたのだ、お照さんなら直にあけるが泥棒だからあける事が出來ない』

『お照はどうしたのだらう、家を開てどこかへ行つたのかしら』

『こりやお照どんは泥棒の爲に猿轡をはめられて、押入の中へ打込まれでもしてゐるのだらう、何にしても大變な事が出來たものだ戸がこはれたつて構はねえ、力一杯叩かうぢやないか、多分泥棒は驚いてまご／＼してゐるだらう』

ドン／＼／＼ドン／＼／＼

『あけろ』

『あけろ』

と激しく叩く、お照はふるえ上つて後へのき、恨めし氣に我家を眺めてゐると、餘り騷ぎがはげしいので自分の家はあかないが近所隣で目を覺し

『どうしたんですお隣さん』

『恐ろしい騷ぎだなア、眠られやアしない』

と七八軒からでゝ來たる